



R18

硝子果実

Honkai: Star Rail Unofficial Fanbook #04

Phainon Mydei
matatabi presents

※ver3.3段階で考えた話になりますが、本編とは全く関係ないです。

※オメガバースの設定を元に、現代(オンパロスではないどこか)を舞台設定としています。

※成人向けの表現を含みます。18歳未満の方の閲覧はご遠慮ください。

※この作品には殺人・遺体遺棄の描写を含みます。
倫理的に問題のあるシーンがあり、キャラクターの価値観・行動が合わないと感じる場合もあるかもしれません。

※物語はフィクションであり、作者が暴力や犯罪行為を容認するものではありません。
フィクションとして受け止め、自分の中で咀嚼・解釈できる方向けです。
ご無理のないご判断をお願いします。

ATTENTION

⚠ 禁 止 事 項 ⚠



無断転載



複製・複写



アップロード



転売



WEB投稿



複製

- ・無断転載／複製／複写
(印刷・コピー・SNSへのアップロード等)
- ・インターネットオークション／フリマアプリ／
中古同人ショップ等への転売

- ・ Any unauthorized reprinting / copying
- ・ Reposting / uploading to the internet
(ex. SNS, blogs, cloud services for share)
- ・ Modifying / editing
- ・ Reselling (ex. Net auction, used bookstores)

●ご不要の際は



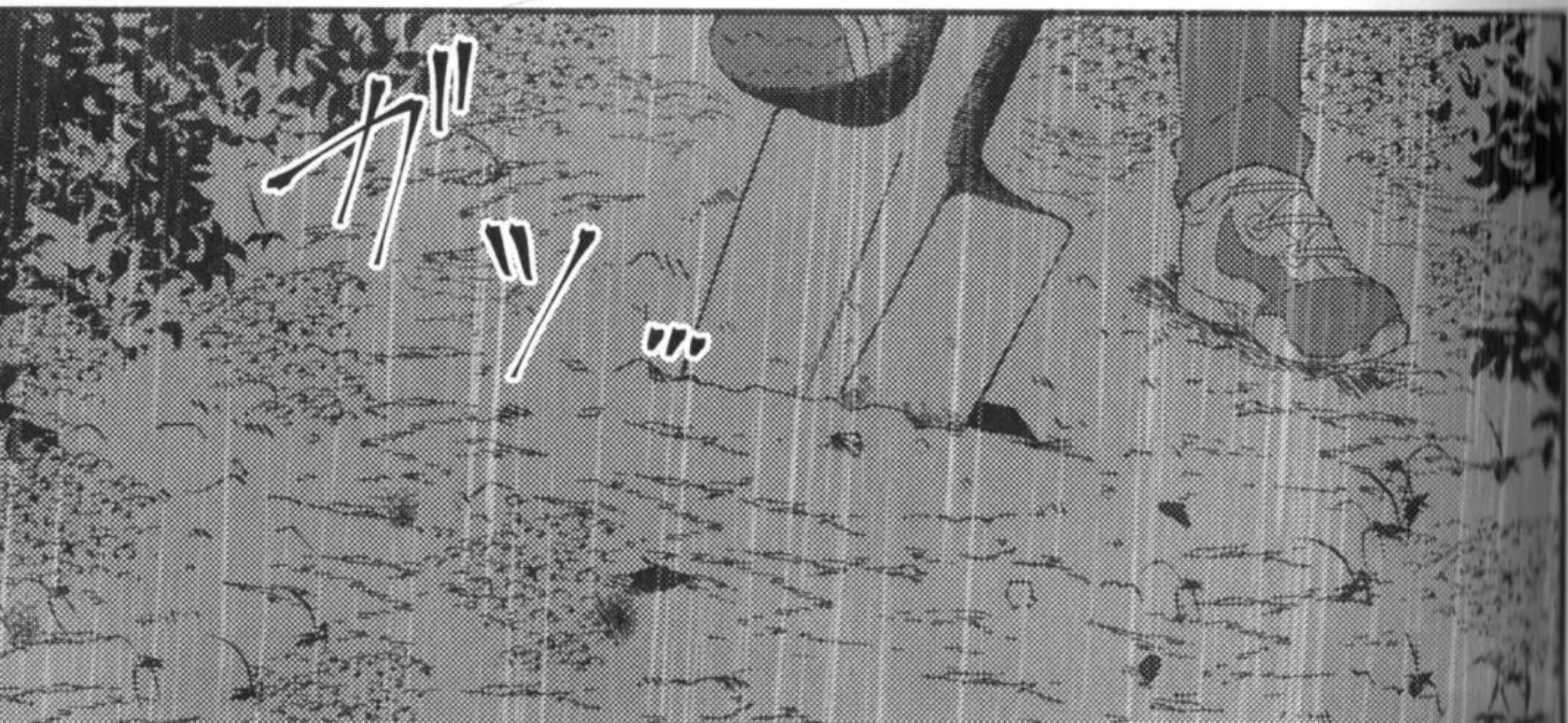
書店持込可

友人・知人間の譲渡、中古同人ショップ等への
持込はご自由にどうぞ
個別のお問合せにはお答えしかねます。ご了承ください。

※処分の際は中身が判読できない状態にして頂いた上で、可燃ごみとして破棄してください。

Please discard this book as burnable garbage,
after making its contents illegible.











うん

大丈夫

交代するよ
モーデイス

XXII

7

7

7

001

硝子
の
果
実



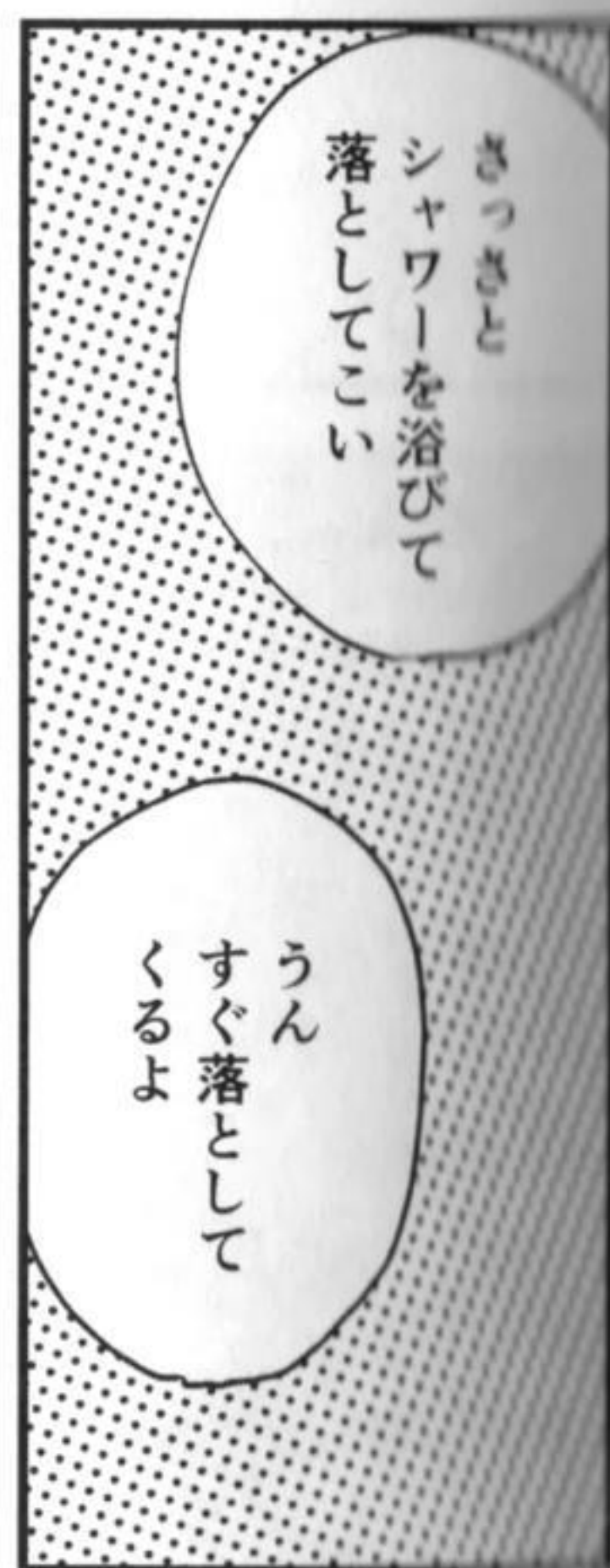
ア
イ
ヤ



ただいま

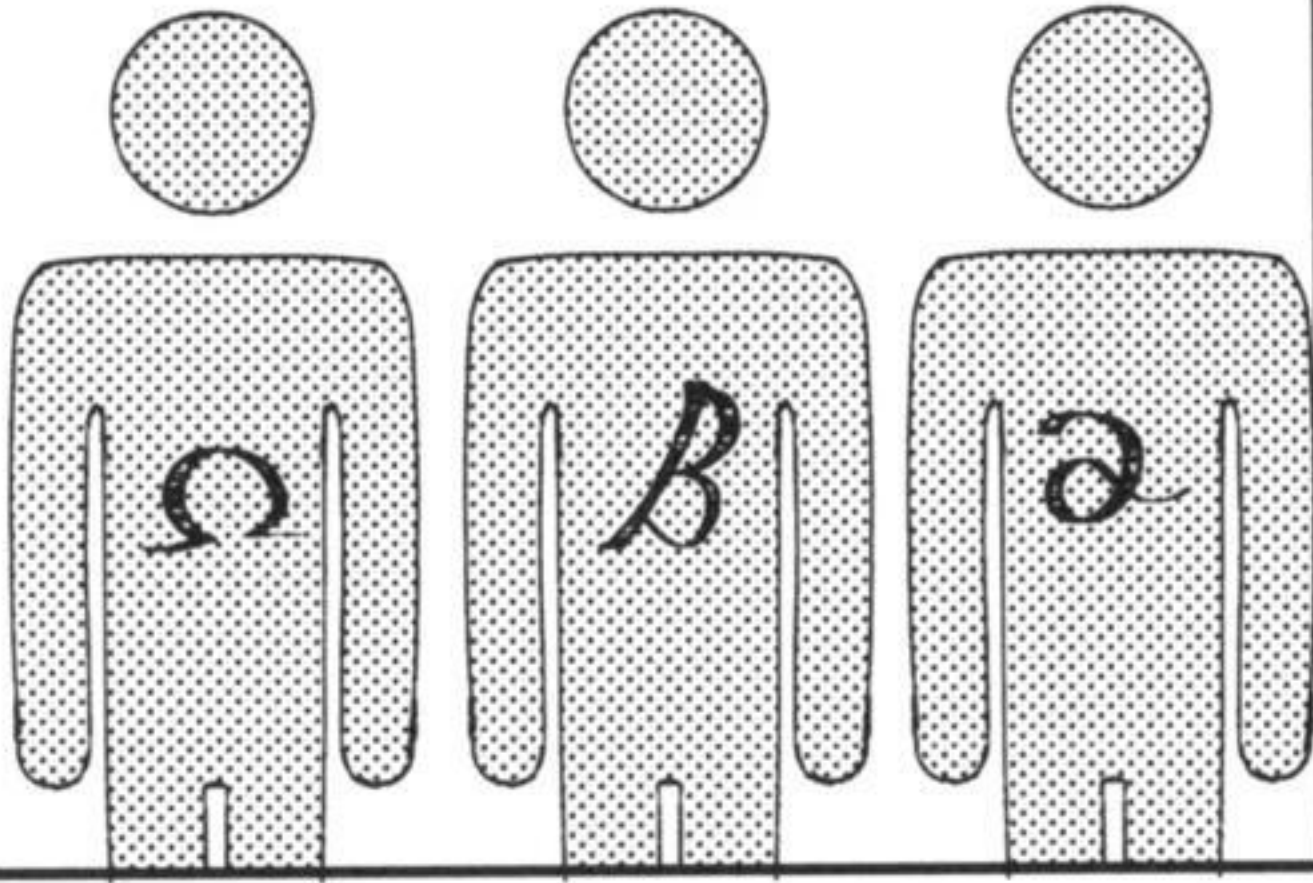






バース性――

人の在り方を
ただ生まれた
瞬間に決めて
しまうもの



人は α ・ β ・ Ω の
いずれかに分かれ
それぞれ異なる
役割と本能を
抱えて生きていく



俺も、ファイノンも α だ



必然と
学生生活の
ほとんどを
ファイノンと
過ごしていた

事あるごとに
俺に絡んでくる
相手をしていれば



ファイノンとは
ハイスクールからの
付き合いで同じ α 同士
よく競いあっていた



君のことが
好きなんだ



ファイノンから
告白されたのは
卒業式の日だった



正直
どこがそんなに
気に入られたのか
今でも分からない

だが

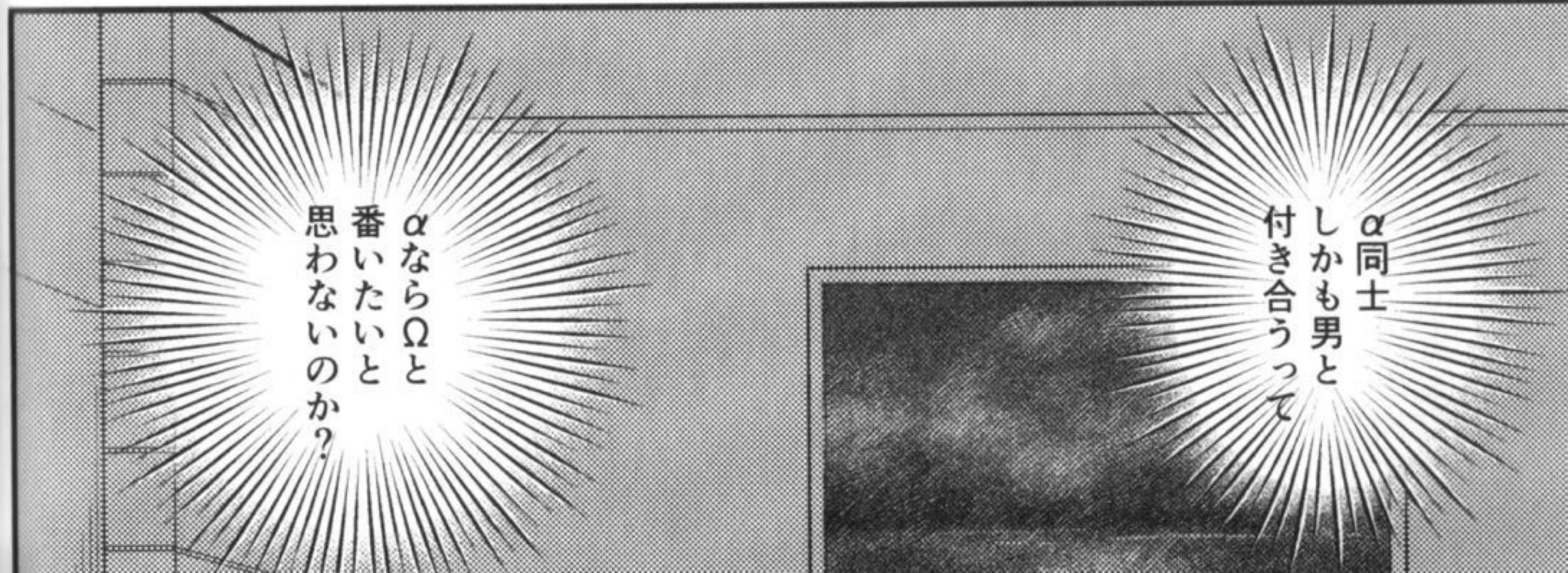
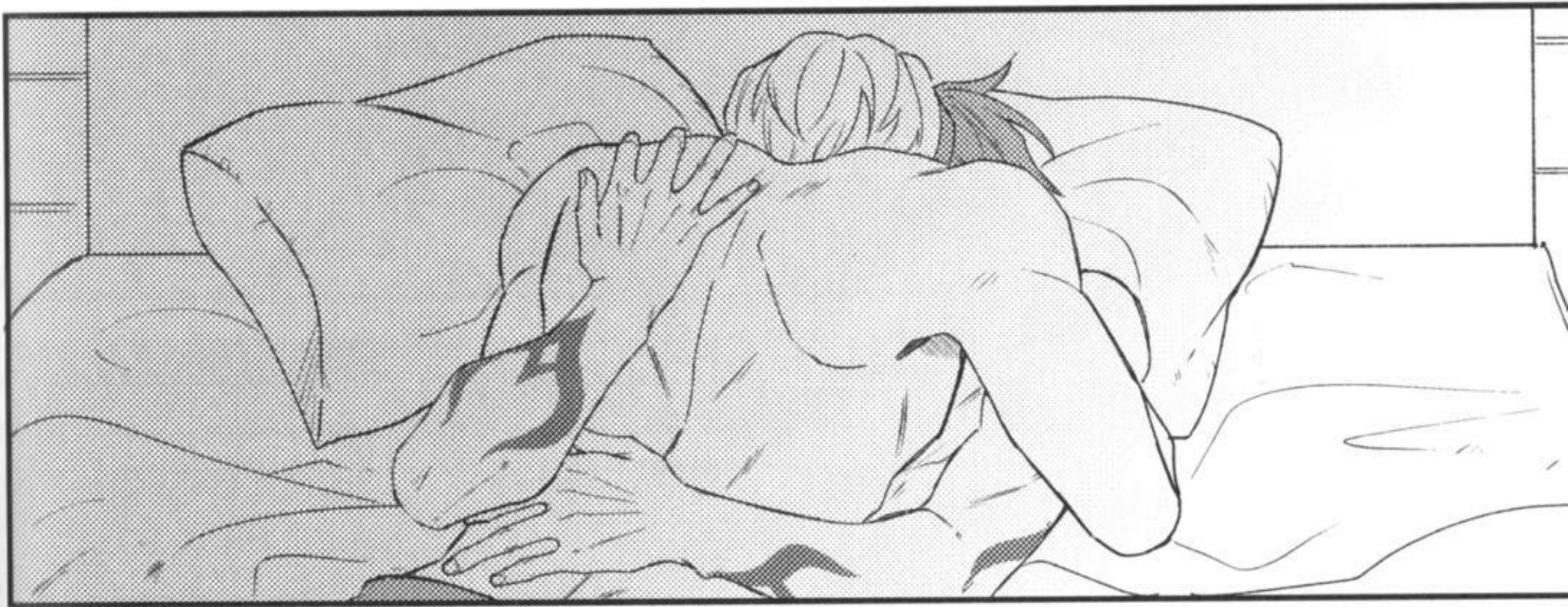
俺も、あいつの
まっすぐな目が
嫌いじゃなかった



あれから10年
経った今でも
俺はあいつと
一緒にいる



α同士は衝突する
ことも多く
長くは続かないと
言われているが

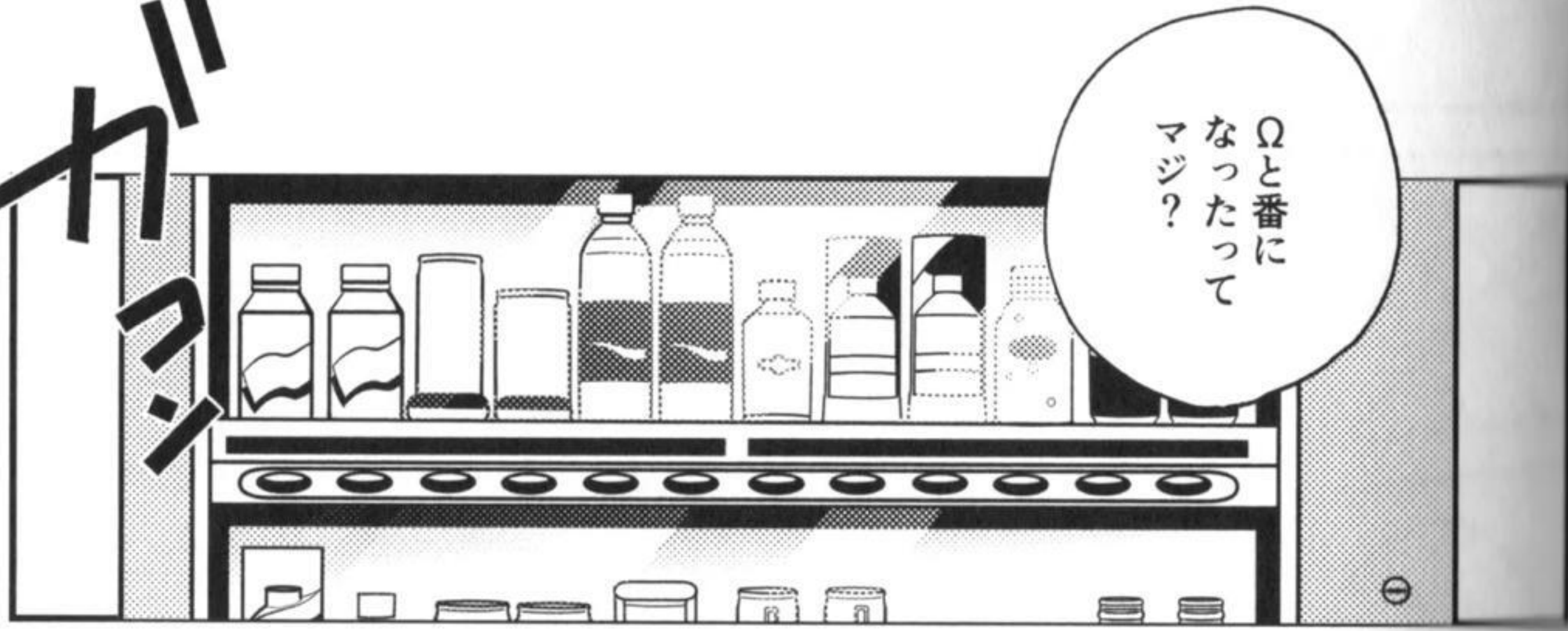






俺は今日も
この美しい男を
独占している

ガ
コン



Ωと番に
なったって
マジ？



でも番制度と
恋人は別だって
いうじゃん

あー…
前言った
彼女とは
別れた



マジ

あれ、でも
彼女βって
言ってただろ

彼女とは別に
番相手を見
つけたって
ことか？

デリケートな
会話よく会社で
出来るな

俺もそう
思ってたけど
やっぱり番と恋人の
両立って無理
ていうかさ



見つけちゃっ
たんだよね
運命の番って
いうやつ



それって
都市伝説的な
やつだろ？

ホントかよ

いや
絶対運命の
相手だね

顔を見た時
ビビッと
きたし

それただの
一目惚れだろ

それで？
元彼女のことは
捨てたんだ

人聞きが悪いな
穩便に話し合いで
解決してる



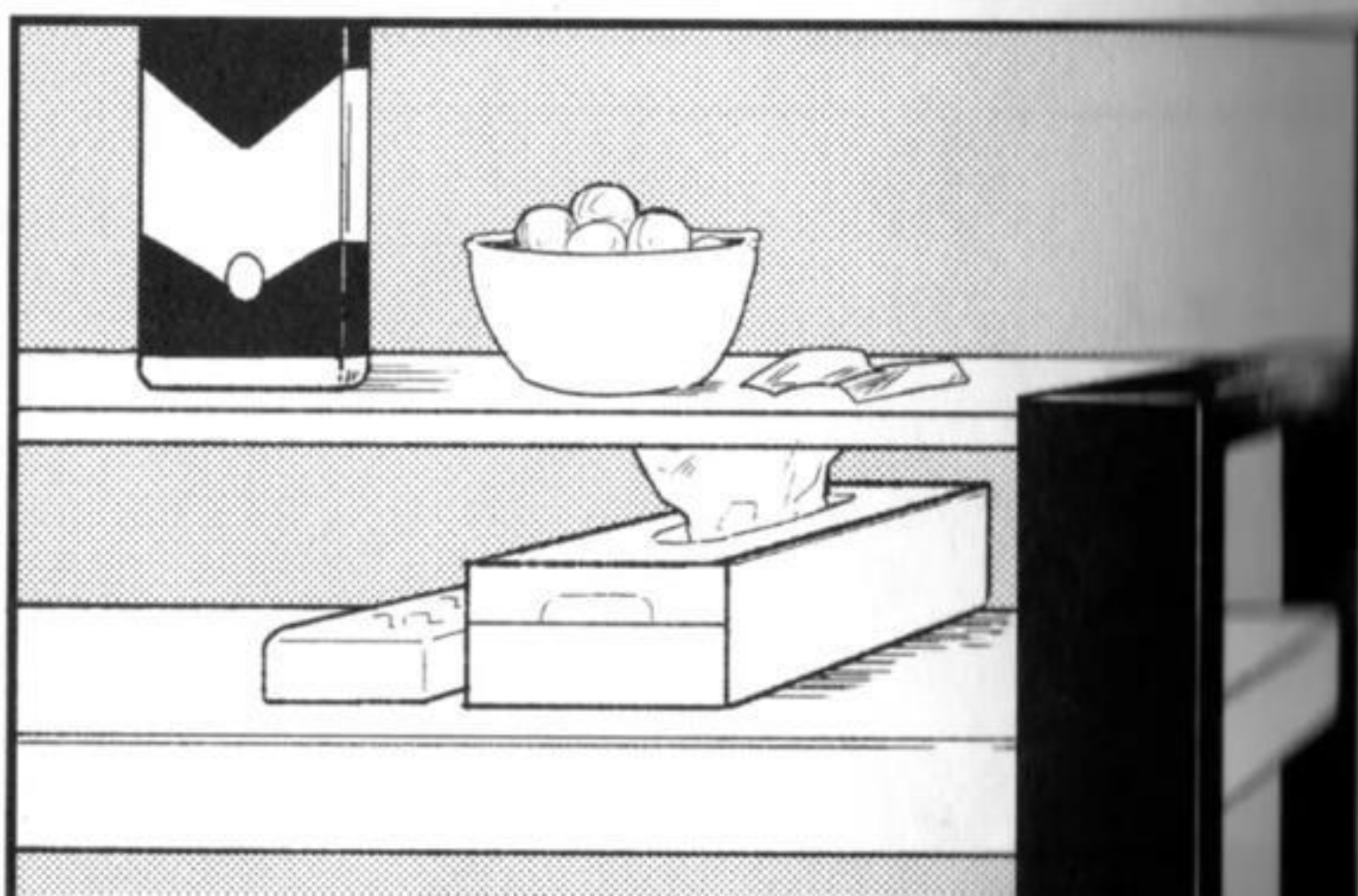
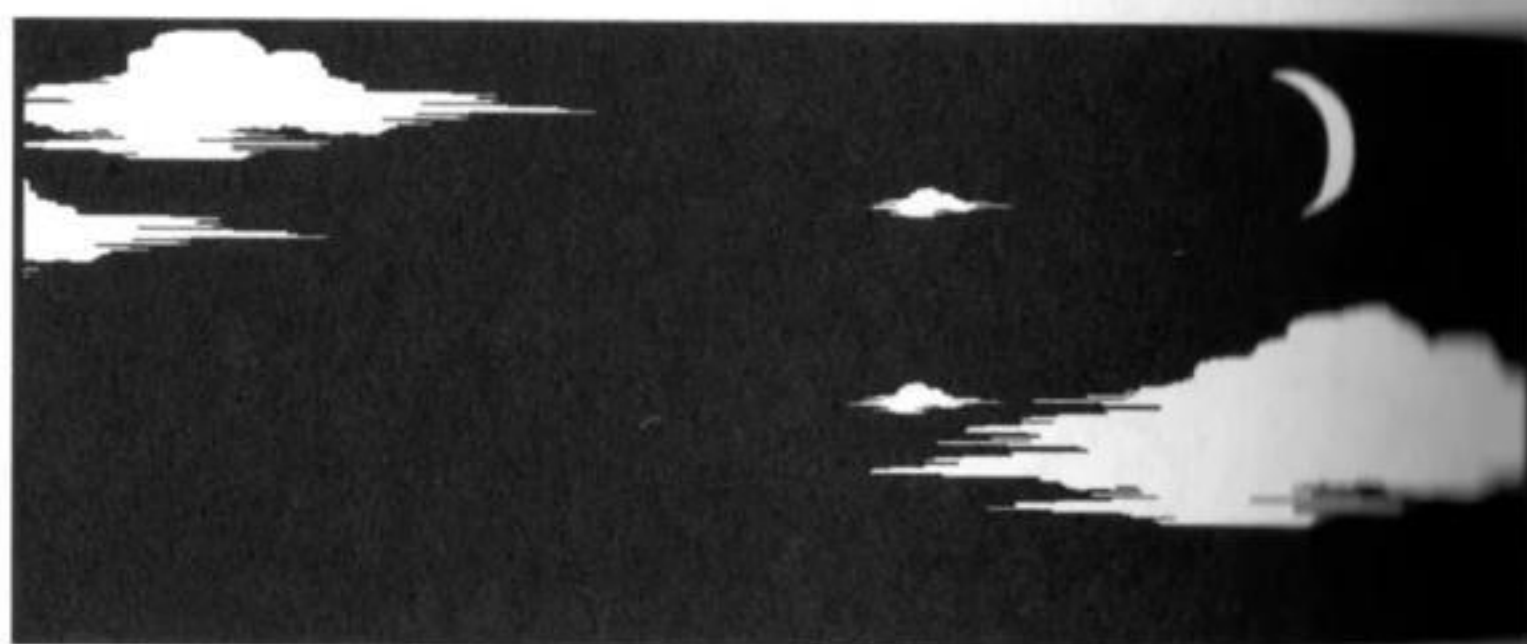
最初は俺も
考えたよ
彼女とは長く
付き合ってきたし

もちろん嫌いに
なった訳でも
ないから

でもΩの子が
運命の相手じゃ
なくてもさ



ハッ





モーデイス…



まだ
寝てなかった
んだね

明日も早番じゃ
なかったっけ？

何を
落ち込んで
いる？



気にしない方が
不自然と
いうものだ



えっ

今日は
帰ってから
ずっと
浮かない顔を
している



…えっと
仕事のこと

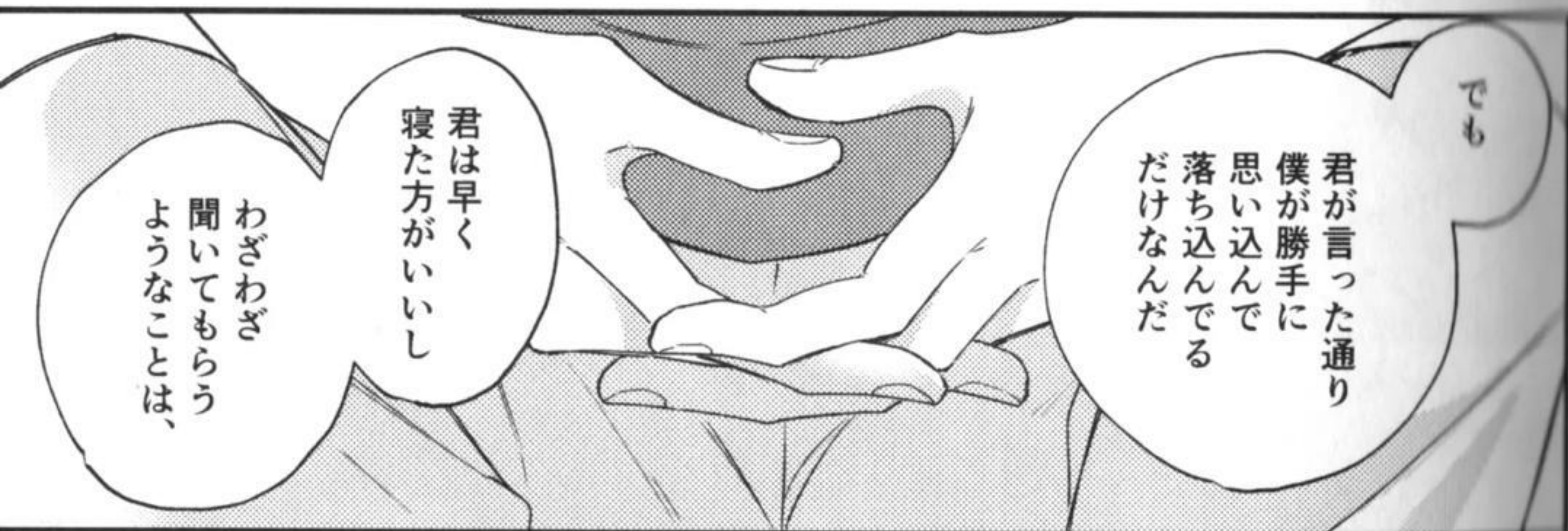


ははは…
さすがだな



嘘をつくな
仕事のことで
あれば
そのような
顔はしない

俺に関係が
あることで
勝手に思い込んで
傷ついてる顔だ



でも

君が言った通り
僕が勝手に
思い込んで
落ち込んでる
だけなんだ

君は早く
寝た方がいいし

わざわざ
聞いてもらう
ようなことは、



ファイノン



君はずるいな

はあ…



モーデイスはさ
運命の相手って
いると思う？



…それは
お前がよく俺に
対して言っている
ことではなく

番
Ωのことか？

うん

今日会社で
偶然同僚が話して
いるのを聞いて
しまったさ



運命の番を
見つけたって



聞いている限りは
よくある一目惚れ
っぽかったけどね

でも

僕たちαとΩには
運命の番の相手が
いるっていわれてる
じゃないか



……



……こういう話
敢えてして
こなかった
んだけど



君はいると思う？

いない

え

だから
いないと
言っている

…根拠は？

この広い世界で
 β よりも少ないと
されているが

一体どれだけの
 α と Ω がいると
思っている

最初から
運命づけられた
相手がいるとして
それと出会う
確率は一体
どれ程なんだ？



そのような
運命の相手など
いないのと同義だ



ああ
つまりお前は
こう思っている

運命の相手が
現れた時
俺がお前を捨てて
その相手を選ぶ
かもしれない、と



それはそうと
心外だな

何か君を
怒らせるような
こと言った？







ありがとう
ございました



店長
片付けなら
私が
やりますよ！

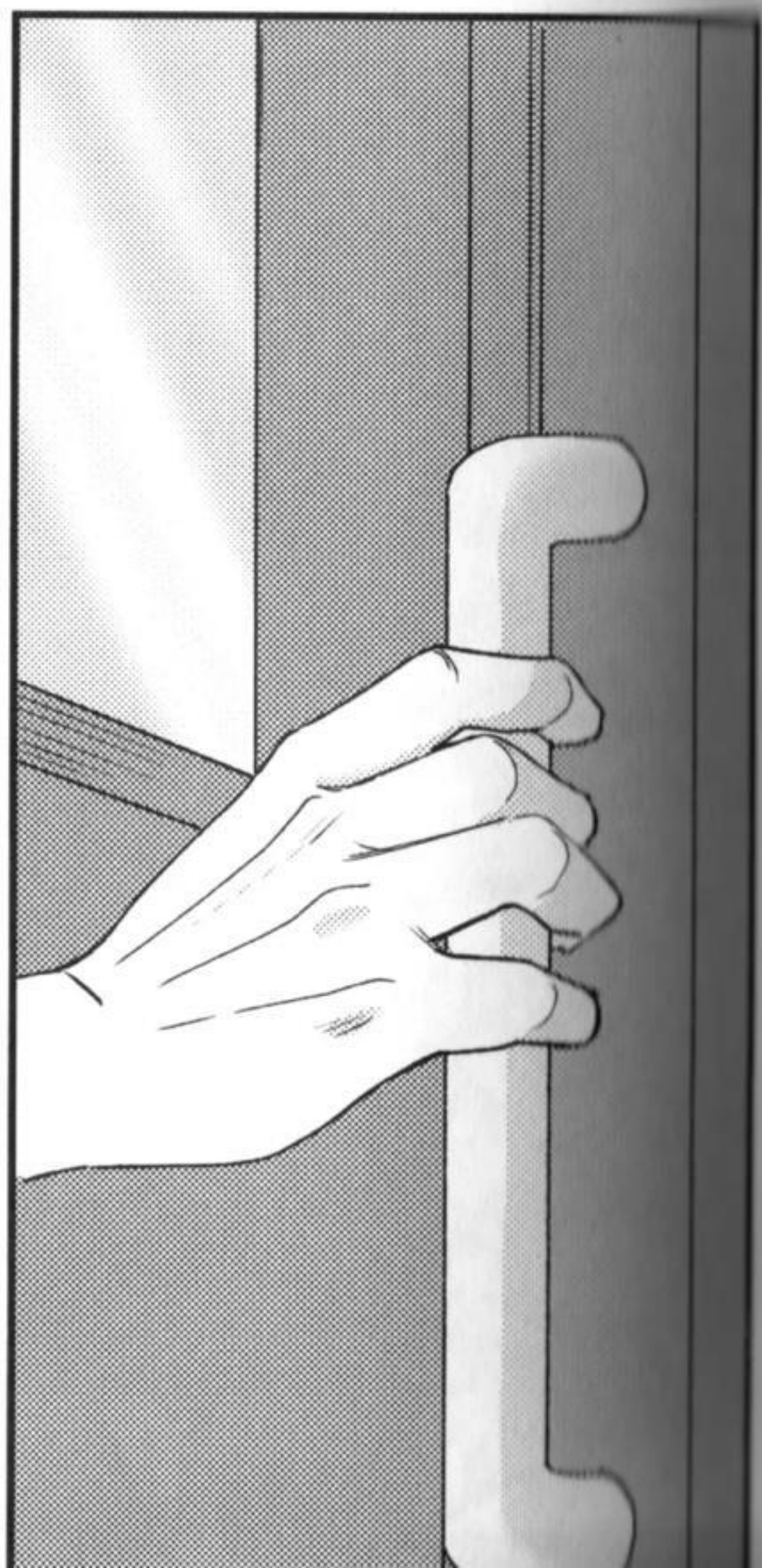


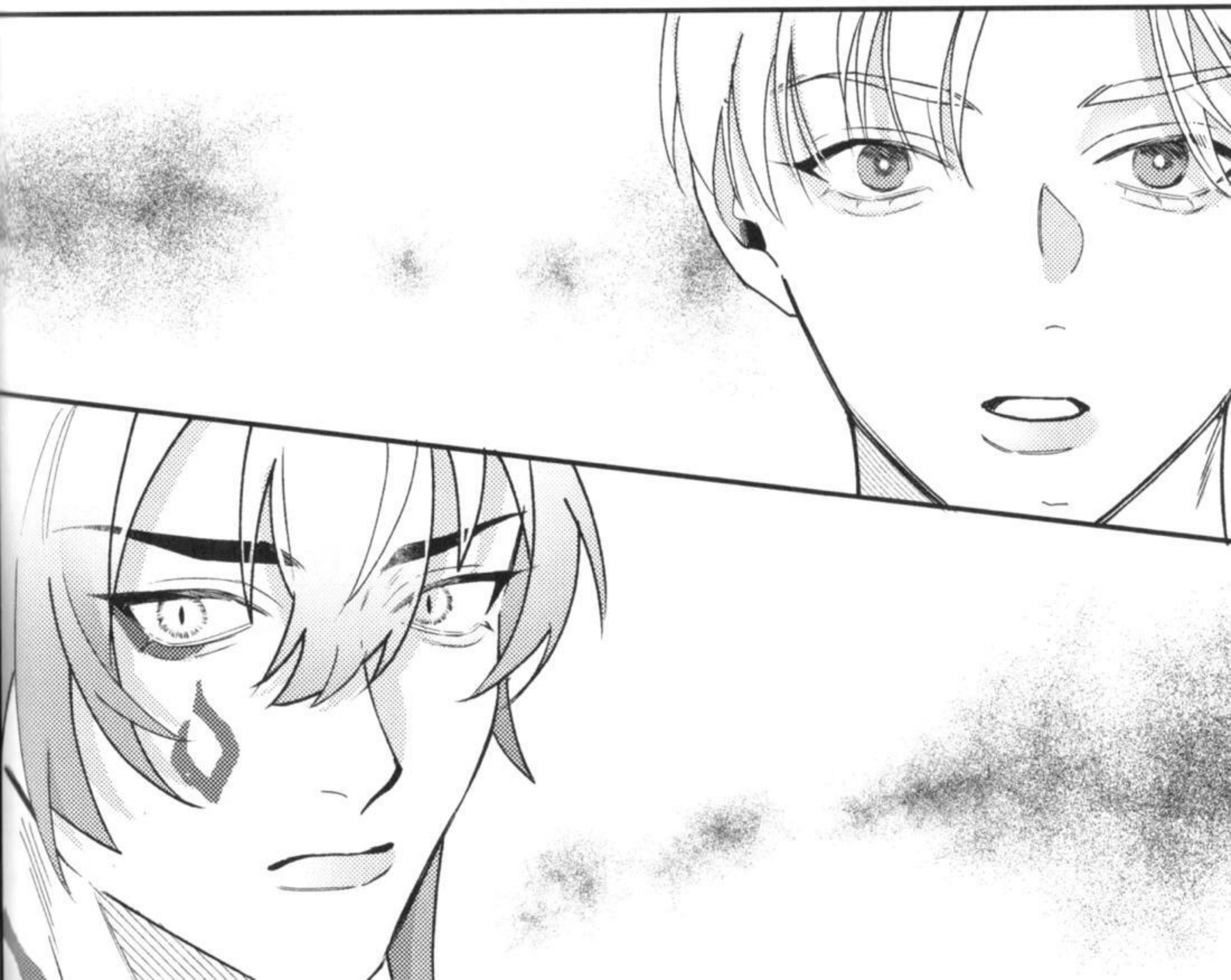
いやいい
今の時間帯は
客も少ない
昼時は忙し
かったのだから
お前も休憩に
入るといい

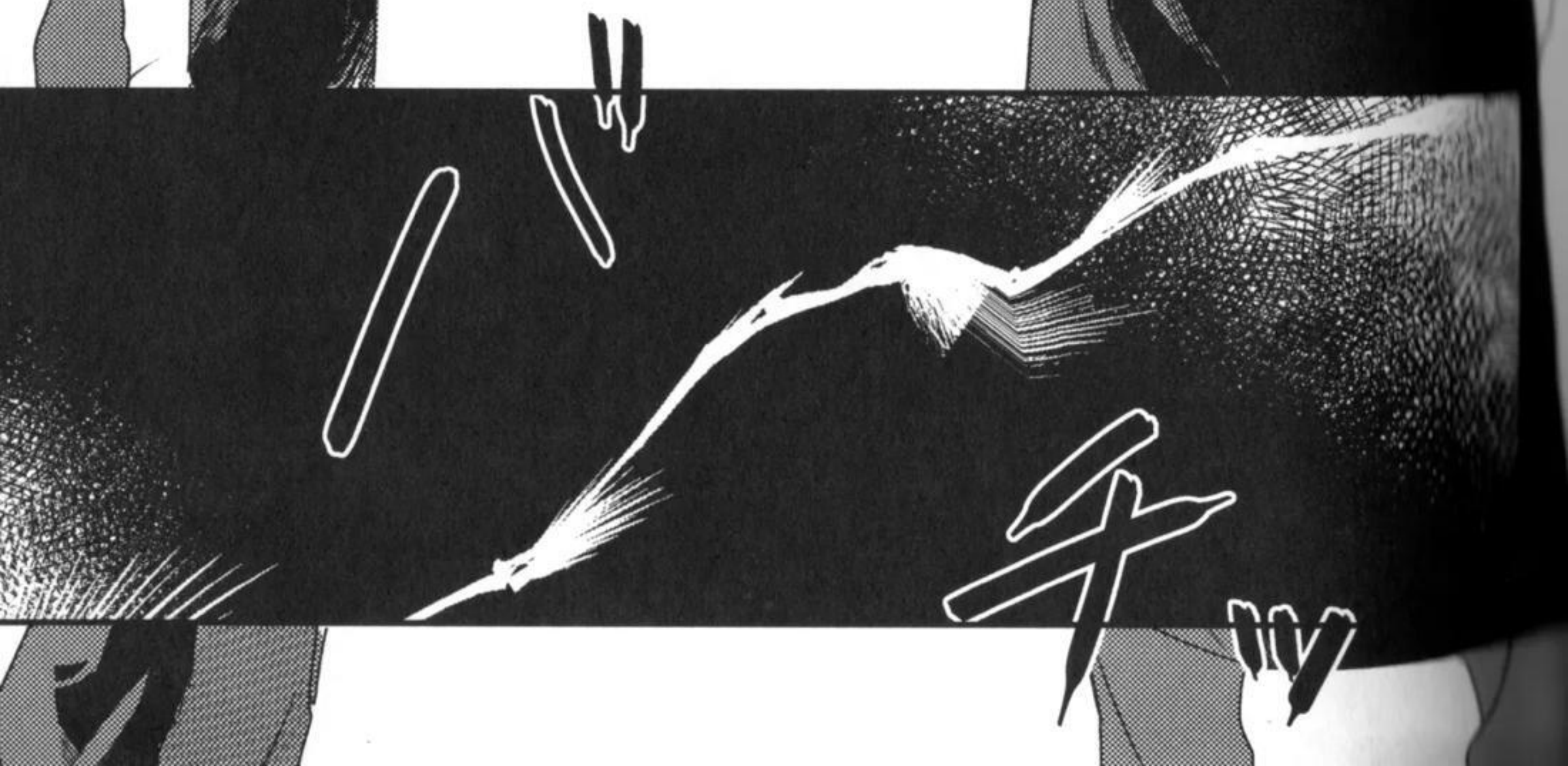
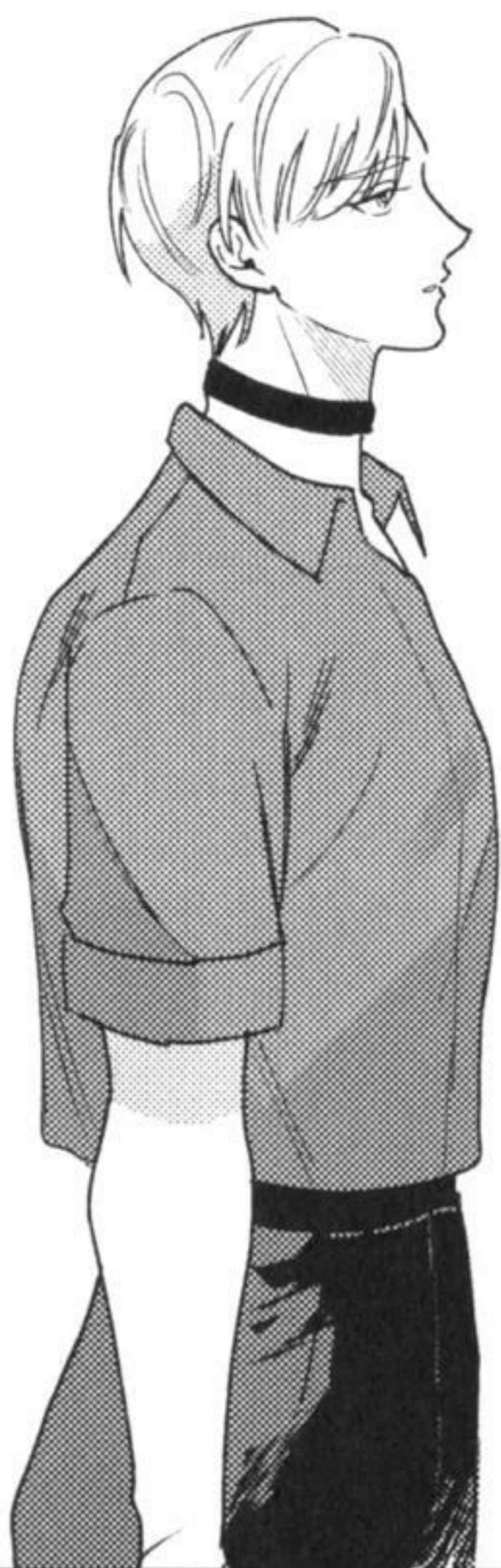


ヤリン

ヤリン





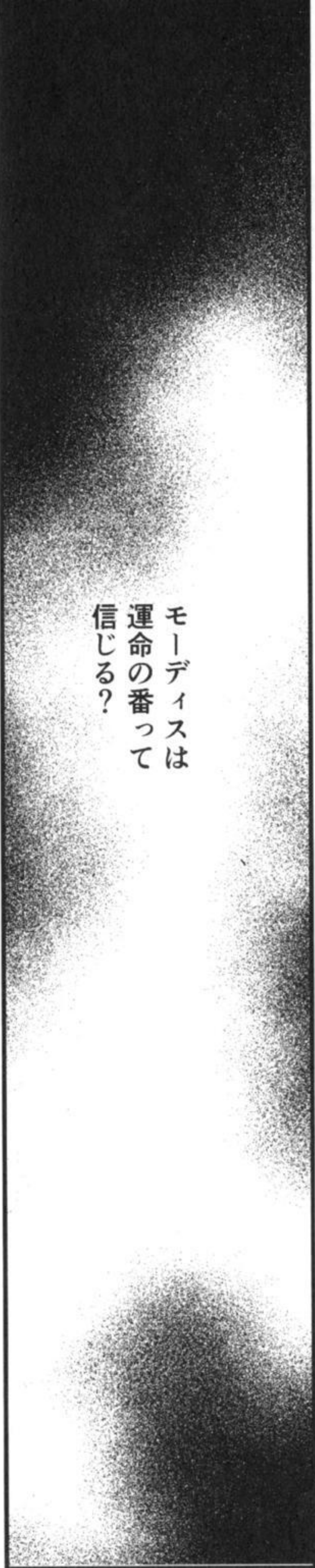








まさか、



モーデイスは
運命の番って
信じる？



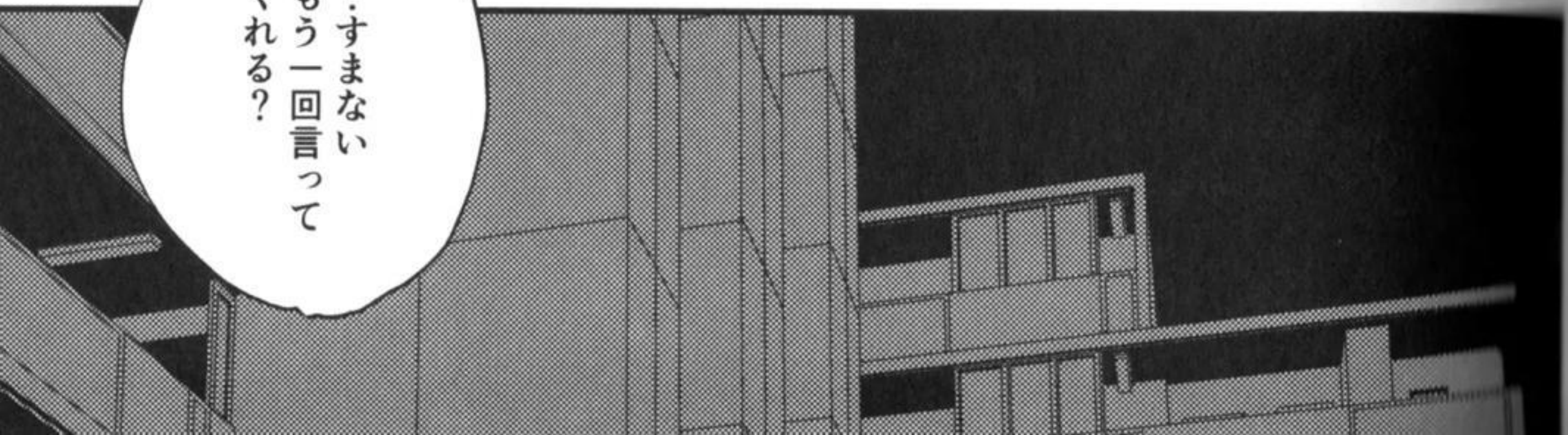
本当に
いるのか？

名前も知らない
さっき会った
ばかりの人間が



あいつが
俺の運命だと
言うのか

…すまない
もう一回言って
くれる？





だから
運命の番に
出会った



お前に隠し事は
したくはないから
正直に話すが

誓って何も
していないし
これから
何も無い

お前が心配する
ようなことは
何も起こらない
から安心しろ



運命の番

モーデイスの…

…なんで

運命の番だって
分かったの

…説明のしようが
ないのだが

一目見てそいつが
そうだと分かった

…ちよつと
待ってくれよ

頭が
追いつかない

運命の
番だって？

君に？

じゃあ、

君は僕を
捨てるのか

俺の話聞いて
いなかったのか

そんな話は
していない

運命の番には
会ったが
何も変わらないと
言っただろう

彼とは会話も
していないし
今後も会う
予定はない

お前が不安がる
ようなことは何も…

どうして君は
そんなに冷静で
いられるんだ!!

何も変わらない
だって?
そんなわけ
ないだろう!

僕の同僚だって
 β の恋人が
居たのに
 Ω が良いと
別れたんだ

君がそうならない
なんて保障
どこにもないじゃ
ないか

おい

ファイノン
落ち着け、

しかも
運命の番だ

君にどんな
影響を及ぼすか
分からない



モーデイスは
平気かも
知れないけど



僕は……



俺だって平気な
訳じゃない!!



お前に何が
分かる!!

見ず知らずの
人間に強制的に
発情させられる
不快感を



頭では違うと
思っているも
本能が

細胞があ
のΩを番にしろと
訴えてくるのを



お前には
分からない
だろう

それが
俺の運命だと

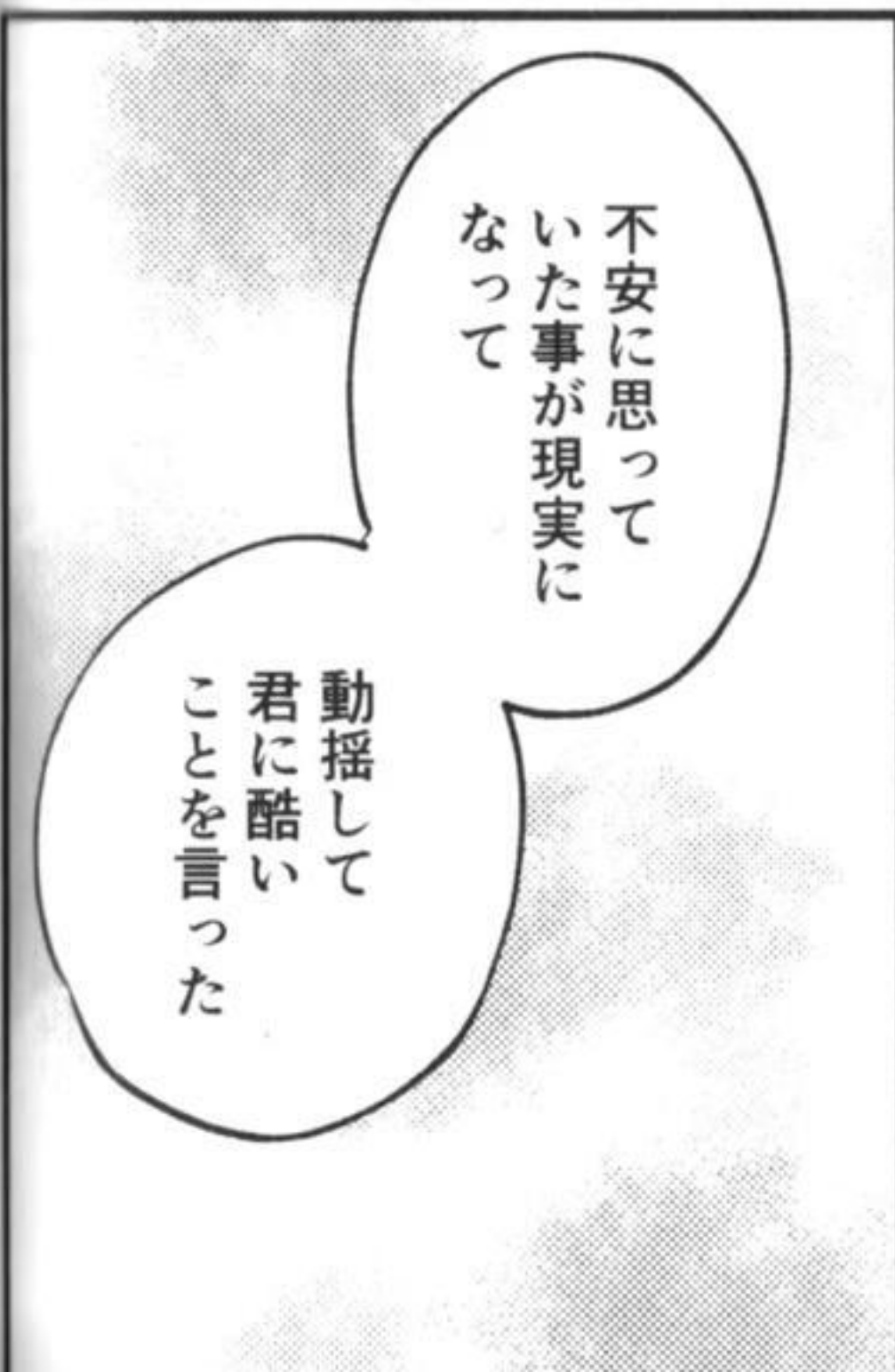
勝手に決めつけ
られた俺の
気持ちなど……





.....ごめん

モーデイスの
気持ち
を
考えられ
て
い
な
か
っ
た



不安に思っ
て
いた事が現
実
に
な
っ
て

動揺して
君に酷い
こと
を
言
っ
た



そうだよ
ね
僕
が
こ
ん
な
に
苦
し
い
ん
だ

君の方が
も
っ
と
苦
し
い
に
決
ま
っ
て
る



許してほしい



運命の番が
居たとしても
俺の答えは
変わらない

俺の運命が
他に居たとしても
選ぶ権利は
俺にあるはずだ

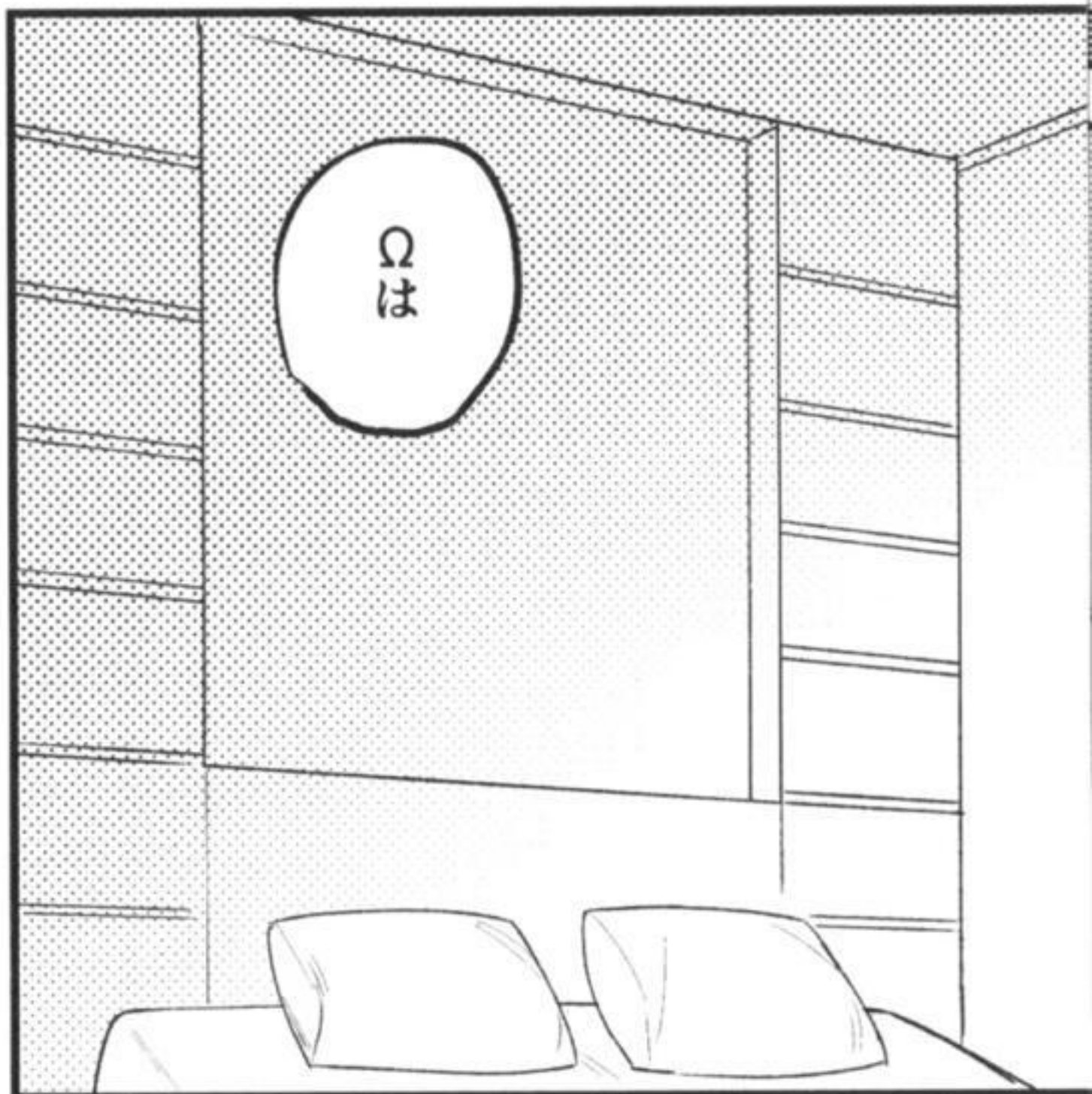


お前に好きだと
言われた
あの日から



ファイノン

俺はとっくに
選んでいる

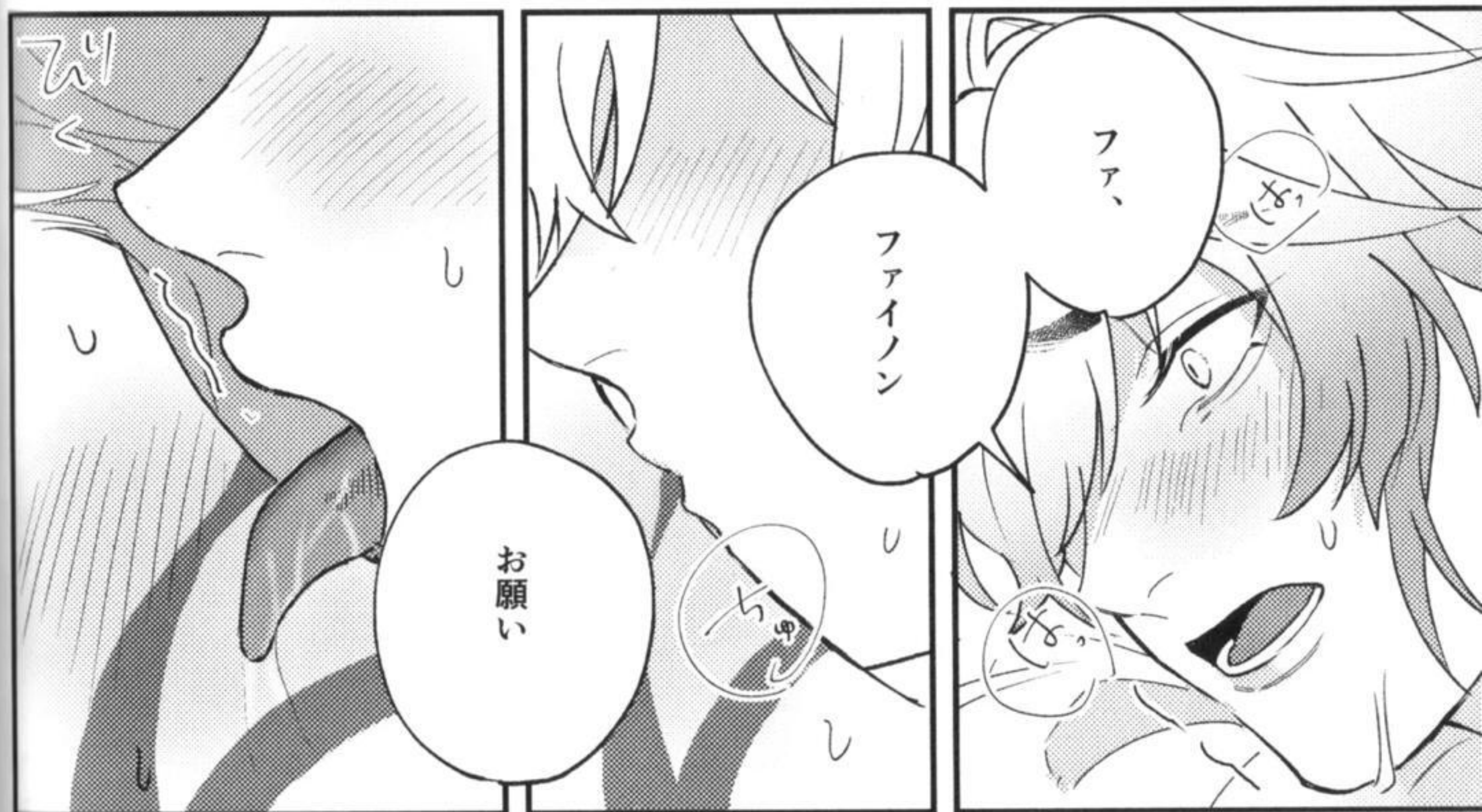








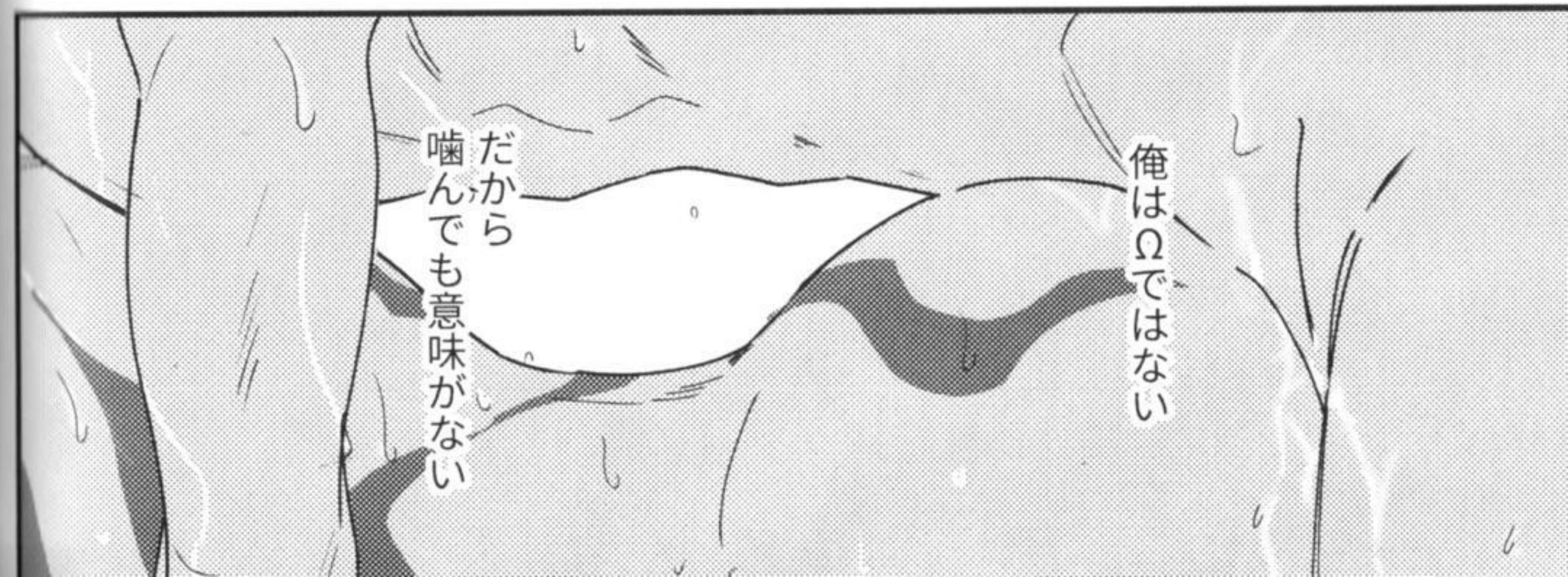
うなじ
噛んでもいい？



ファ、

ファイノン

お願い



俺はΩではない

だから
噛んでも意味がない





好きだから
噛めっ

...さささ

はっ

すん

俺はお前の運命に
なっ、てやれないが

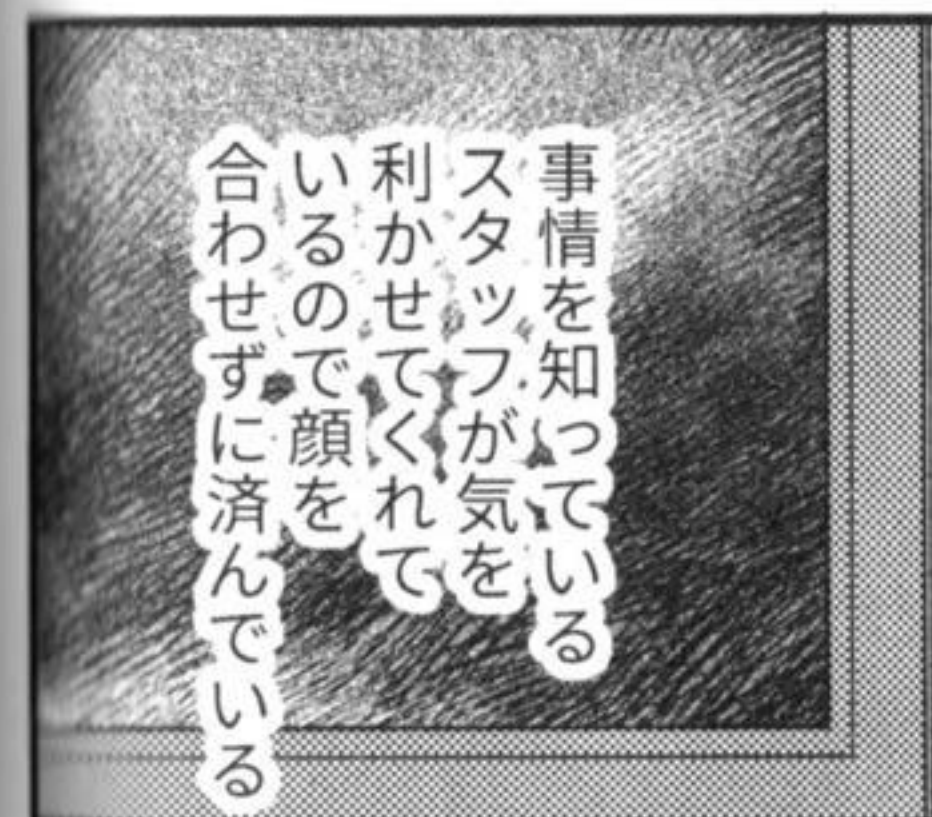
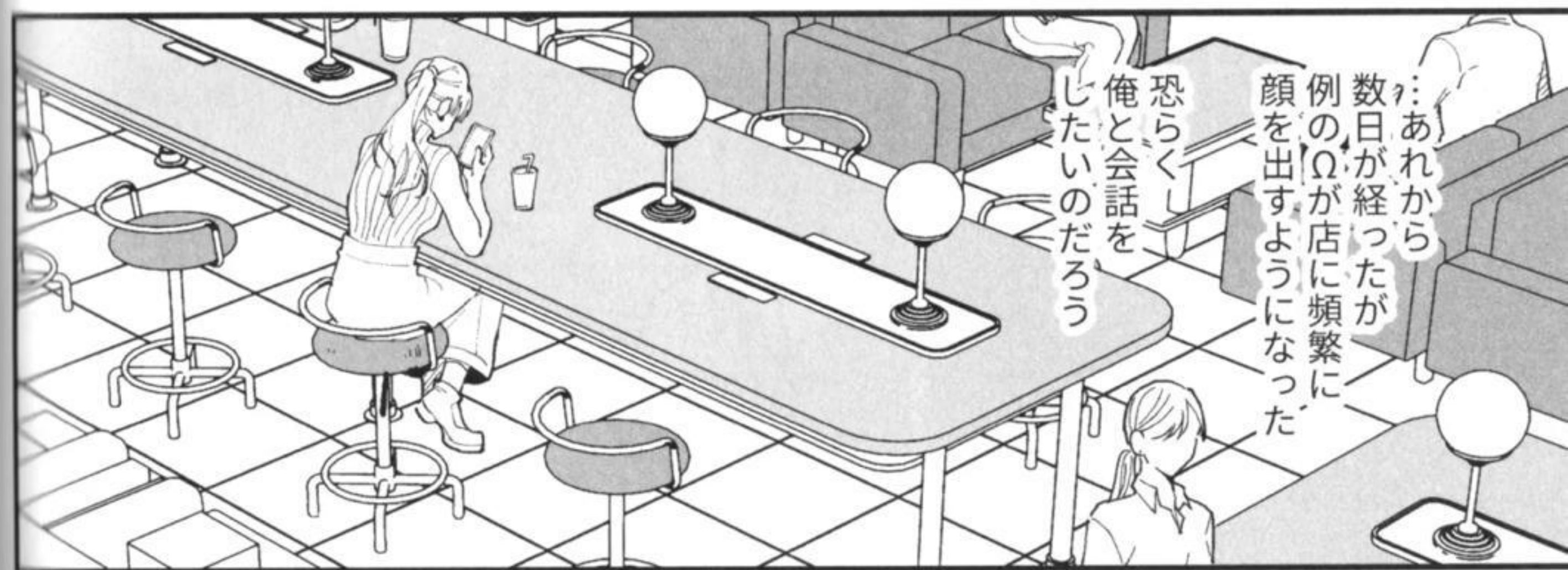
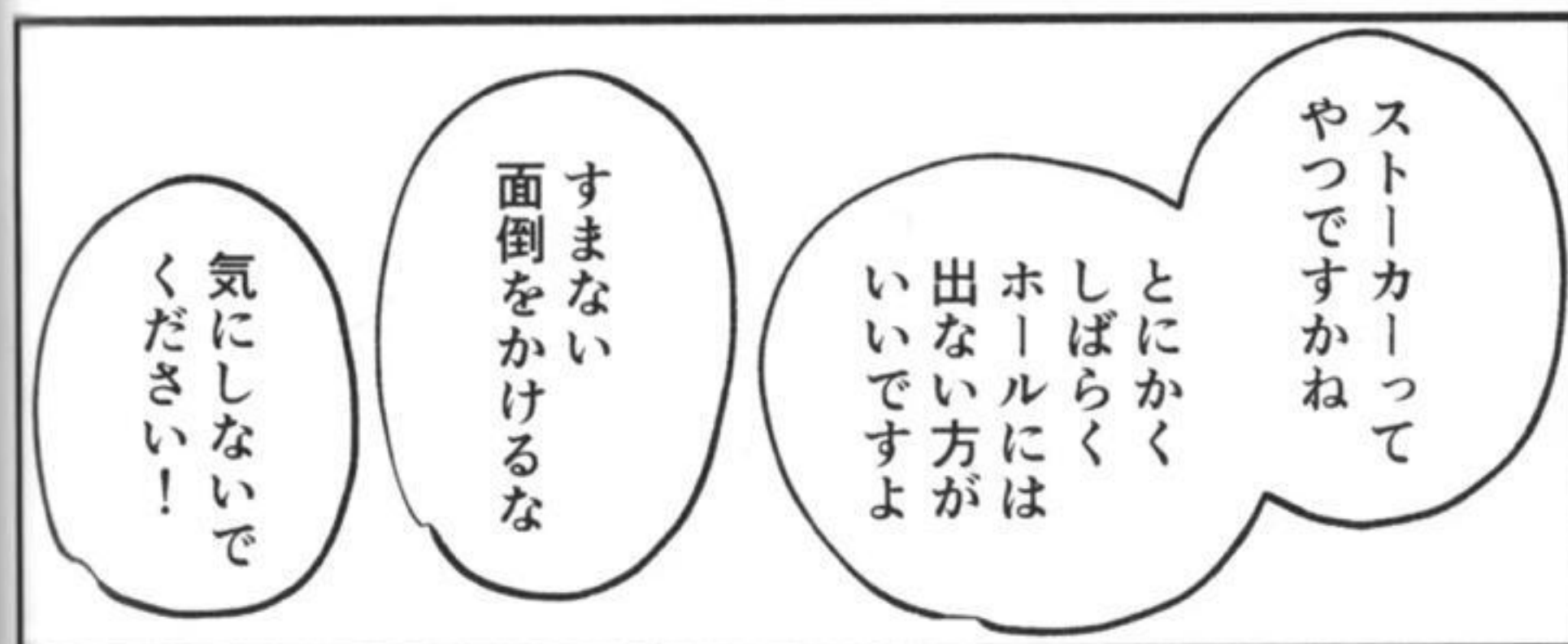
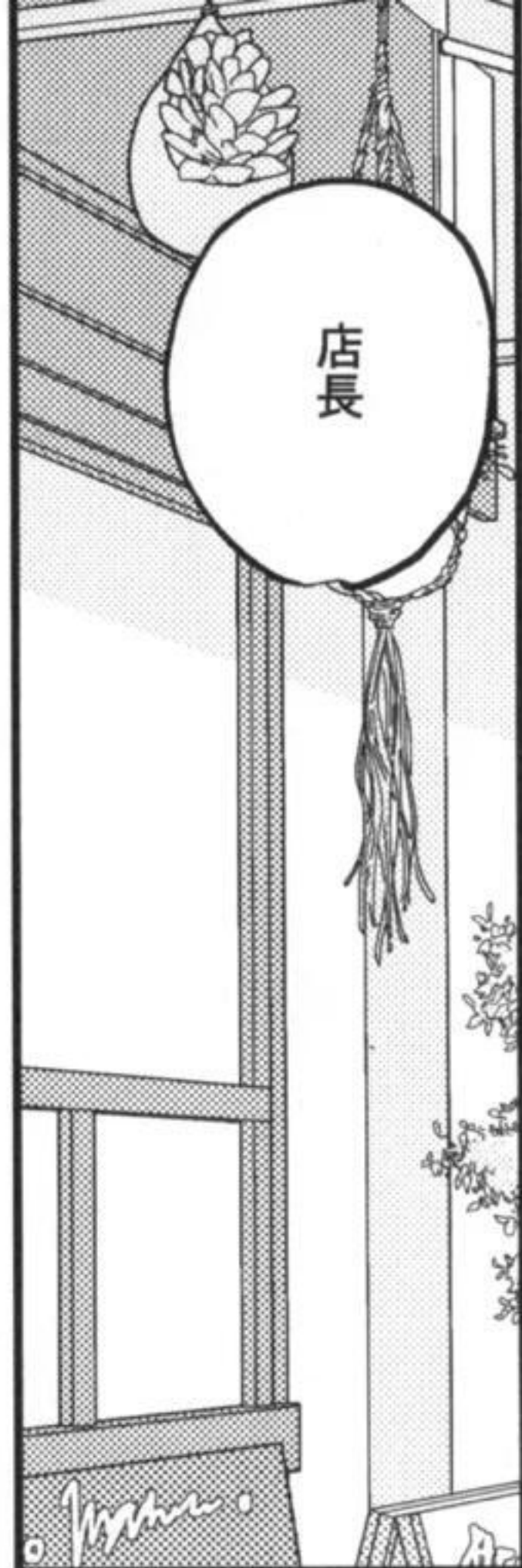
それでお前が
安心するなら

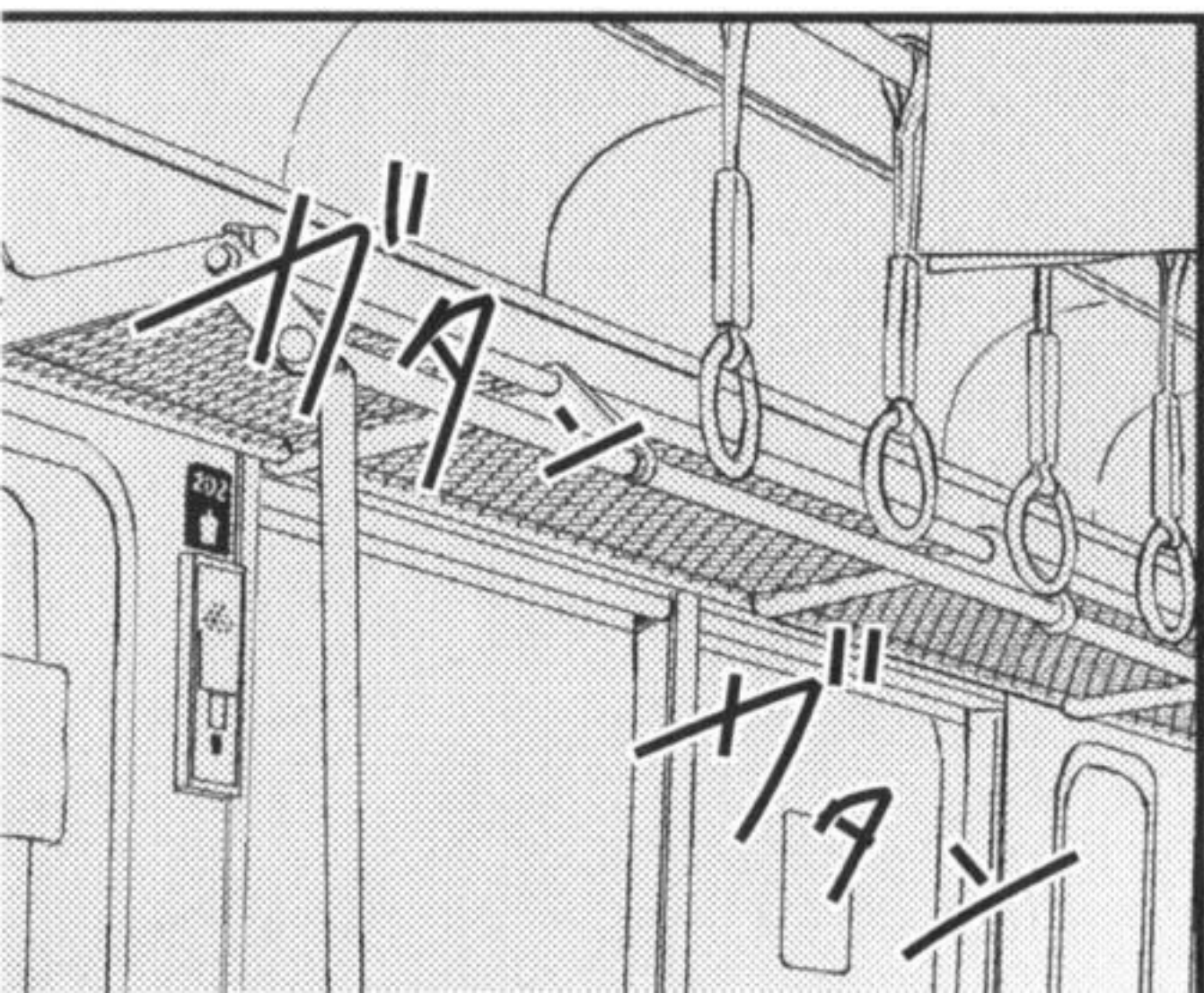
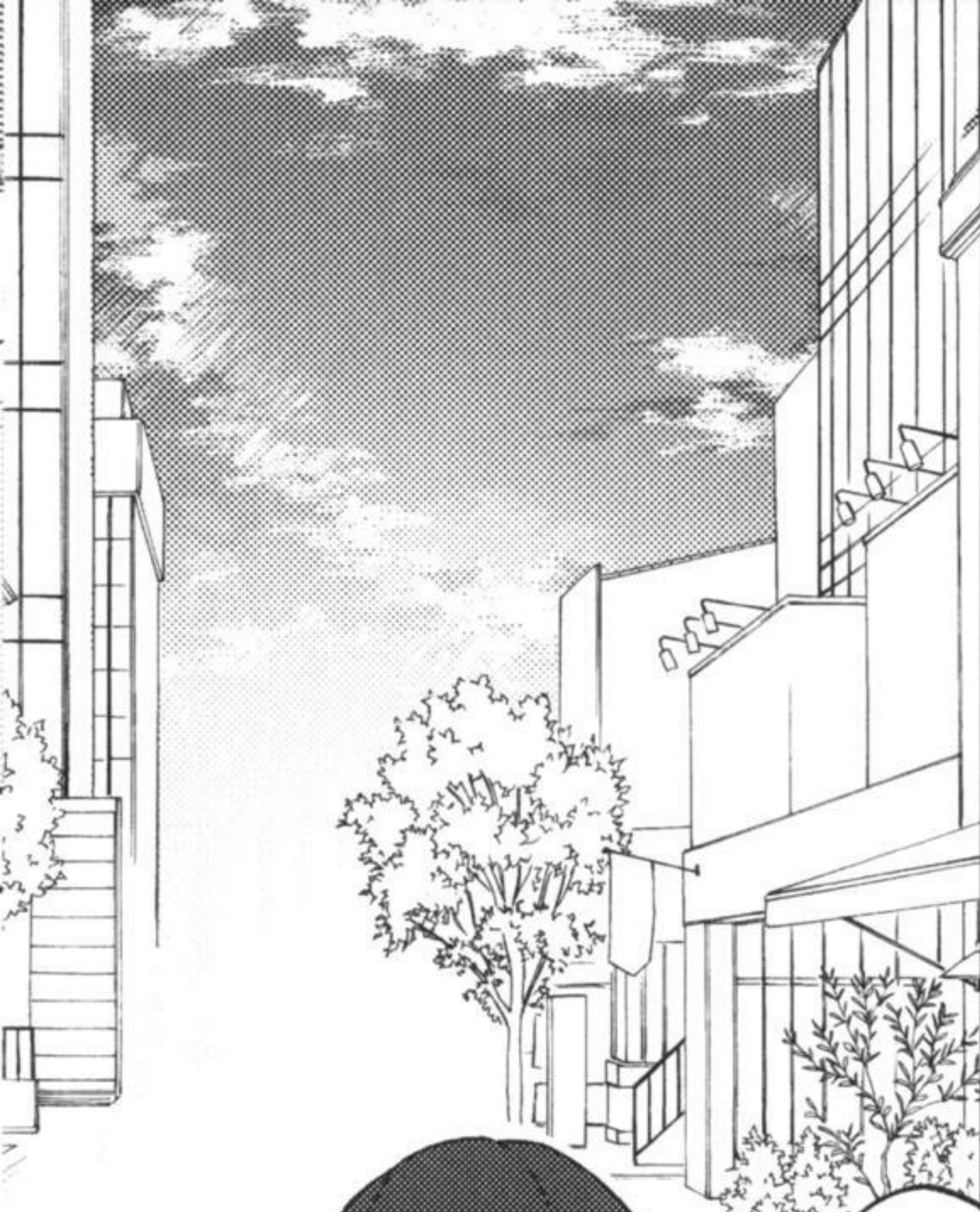


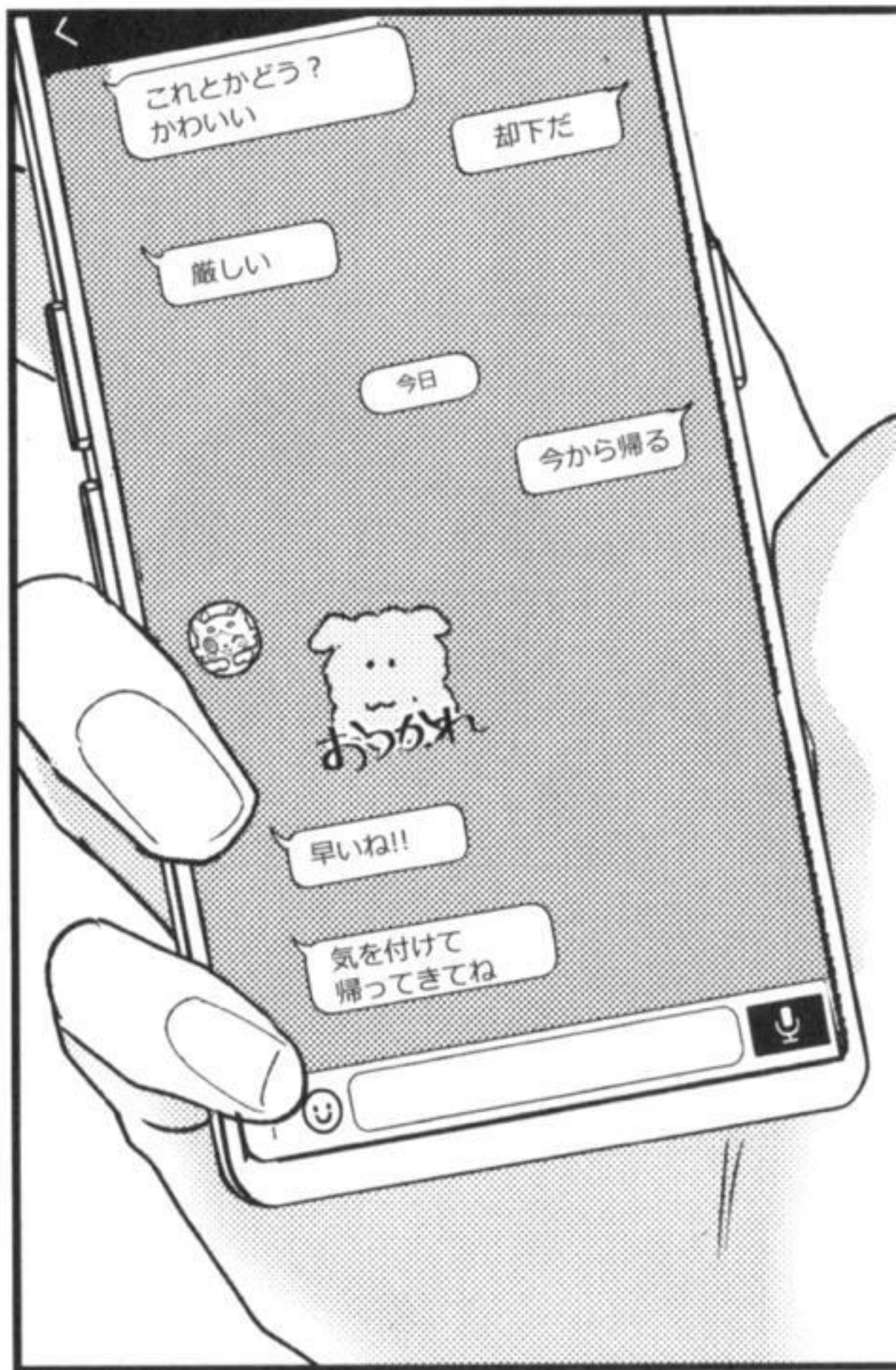
ごめんね

泣くな
ファイノン

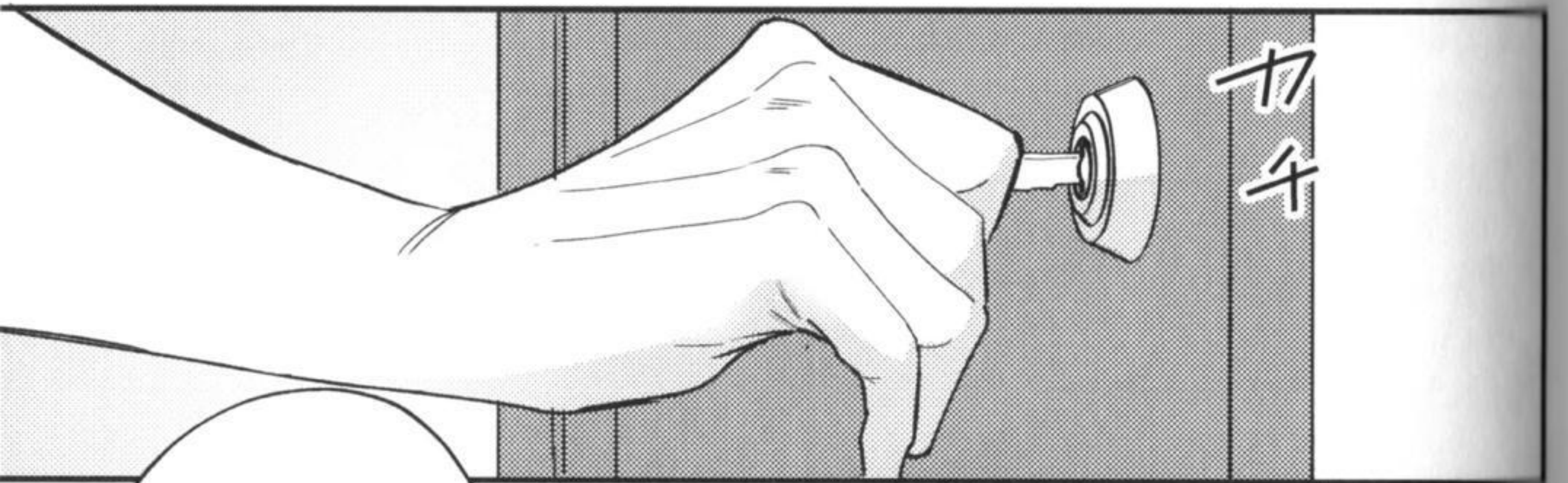
お前の泣き顔は見たくない







いつか諦めるだろう







…後を
つけたのか

まさかこんな
手段を取るとは

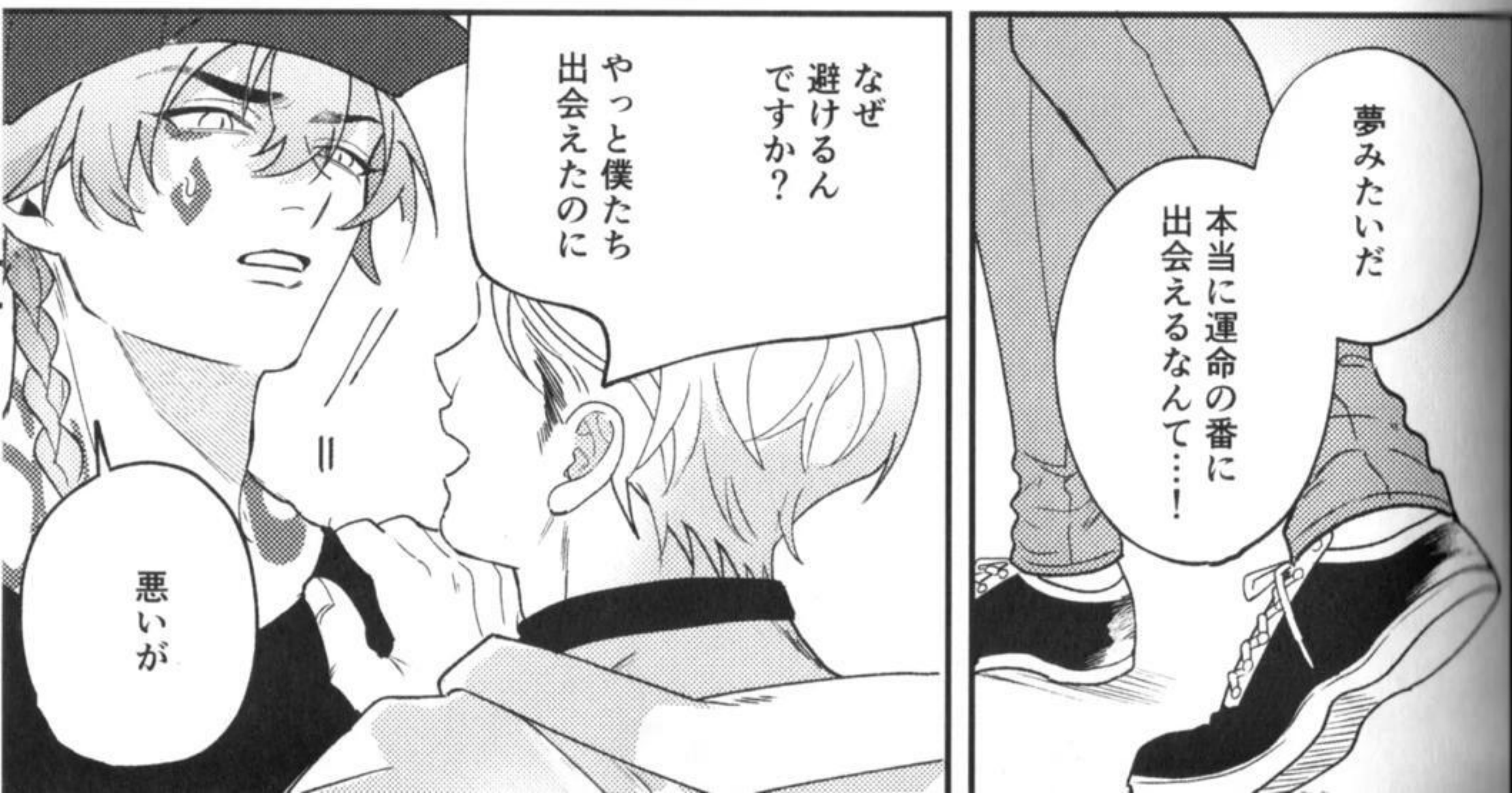
油断していたな

俺に何の用だ



モーデイスさんも
気づいてますよね

僕たちが
運命の番だって



夢みたいだ

本当に運命の番に
出会えるなんて…！

なぜ
避けるん
ですか？

やっと僕たち
出会えたのに

悪いが

俺はお前と番に
なる気はない

は？

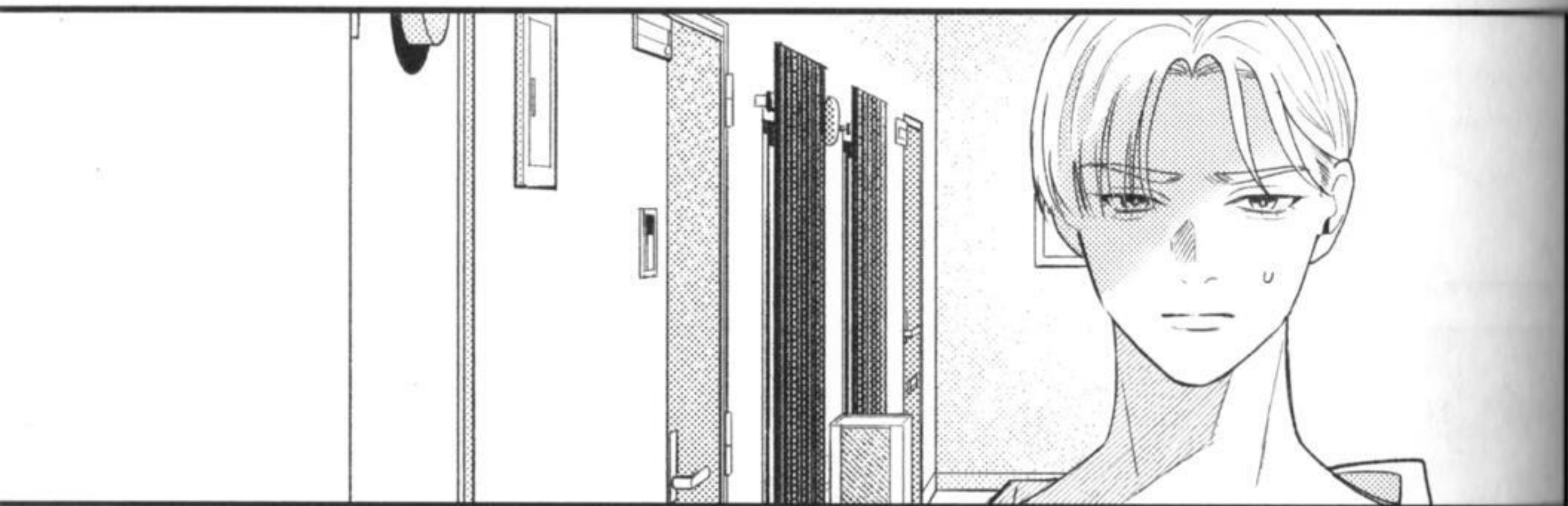
なんで？

俺にはもう
パートナーが
いるからだ

もしもし？

パートナー……？

悪いが
玄関の外まで
出てきてくれるか



もしかして…

遠慮しないで
入ってきていいよ

モーデイスは
先に荷物置いて
きなよ

ああ
そうする

何か飲むかい？

ザクロジュース
ならすぐに出せる
けど

ザクロジュースは
モーデイスの好物
だから常備して
あるんだ

あの、

ファイノンさんって
 α ですよ？

そうだよ

じゃあなんで
モーデイスさんと
付き合ってる
んですか？

… α 同士なのに
おかしい

α 同士付き
合ってるのって
特別珍しいこと
でもないと思うけど

それに α だから
モーデイスのこと
好きになった
わけじゃない

それは彼も
同じだと思う

…正直に言うけど
モーデイスのことは
諦めてほしい

君たちが
運命の番である
ことは知ってるよ

でも僕だって

αのくせに

なんでも
持ってるくせに

僕から番まで
奪う気なんだ

でも

貴方は
モーデイスさんに
何をして
あげられるの？

αには
分からない
だろうな

Ωに生まれてきた
僕の苦しみなんで

……
え……？

番って別に
体の相性が良い
だけじゃないよ



番になることで
精神的に安定
するって証明
されてるし

社会的にも
番になることで
優遇される
ことも多い

それに
僕たちは
運命の番だ

心も体も
きつと
気持ちよく
なれる

Ωであり
運命の番
である僕は
モーデイスを
満たしてあげる
ことができる

モーデイスの
唯一の存在に
なれるのは
僕だけなんだよ

α同士では
永遠に
満たされない

あんたはそれを
理解してるんじや
ないのか？

おい
勝手に話を
進めるな

うう

ファイノンが
気にしている
ことを

俺は貴様と番に
なる気は無いと
言っている

大体俺たちは
出会ったばかり
だろう



本能に勝手に
決められて
お前はそれで
納得するのか

なんだ
そんなこと

お互いのことは
これから知って
いけばいいよ

…僕はずっと
運命の番に
出会えると
ただそれだけを
信じて生きてきた

今日の前に
その番がいるのに
諦めることなんて
絶対にできない

この匂い……!

お前

発情期が

抑制剤

飲んできて
ないんだ

ね

モーデイス

お願い

僕と番に
なろう?



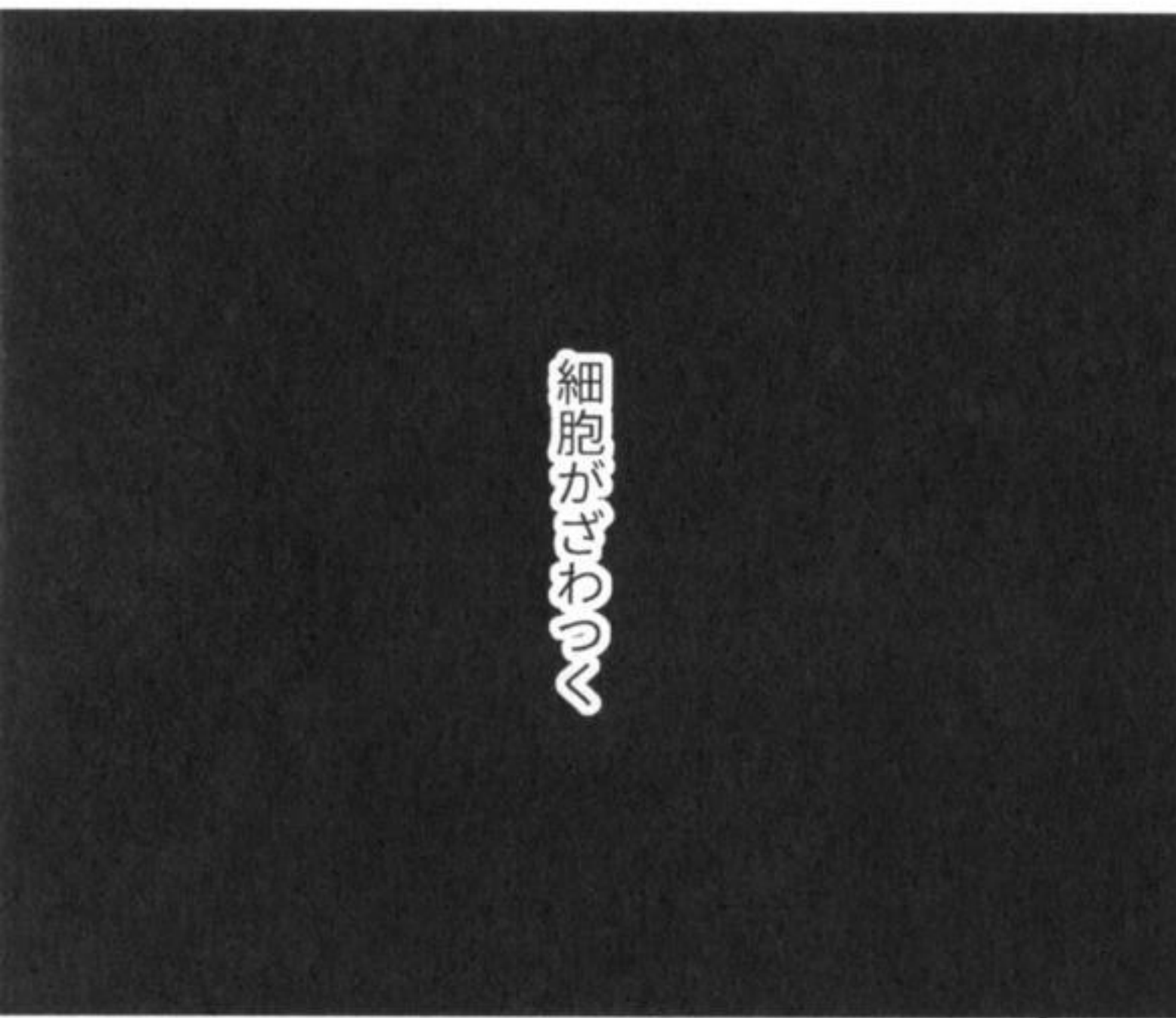
やめろ…!

このΩを
手放すなど



体が…っ

振り解く
ことを拒んで
いる



細胞がざわつく



離せっ…

俺は
貴様とは
違う…!!



やめろ!!



ファイノン
だってきつと
すぐに新しい
相手を見つけるよ

大丈夫

やめろ!



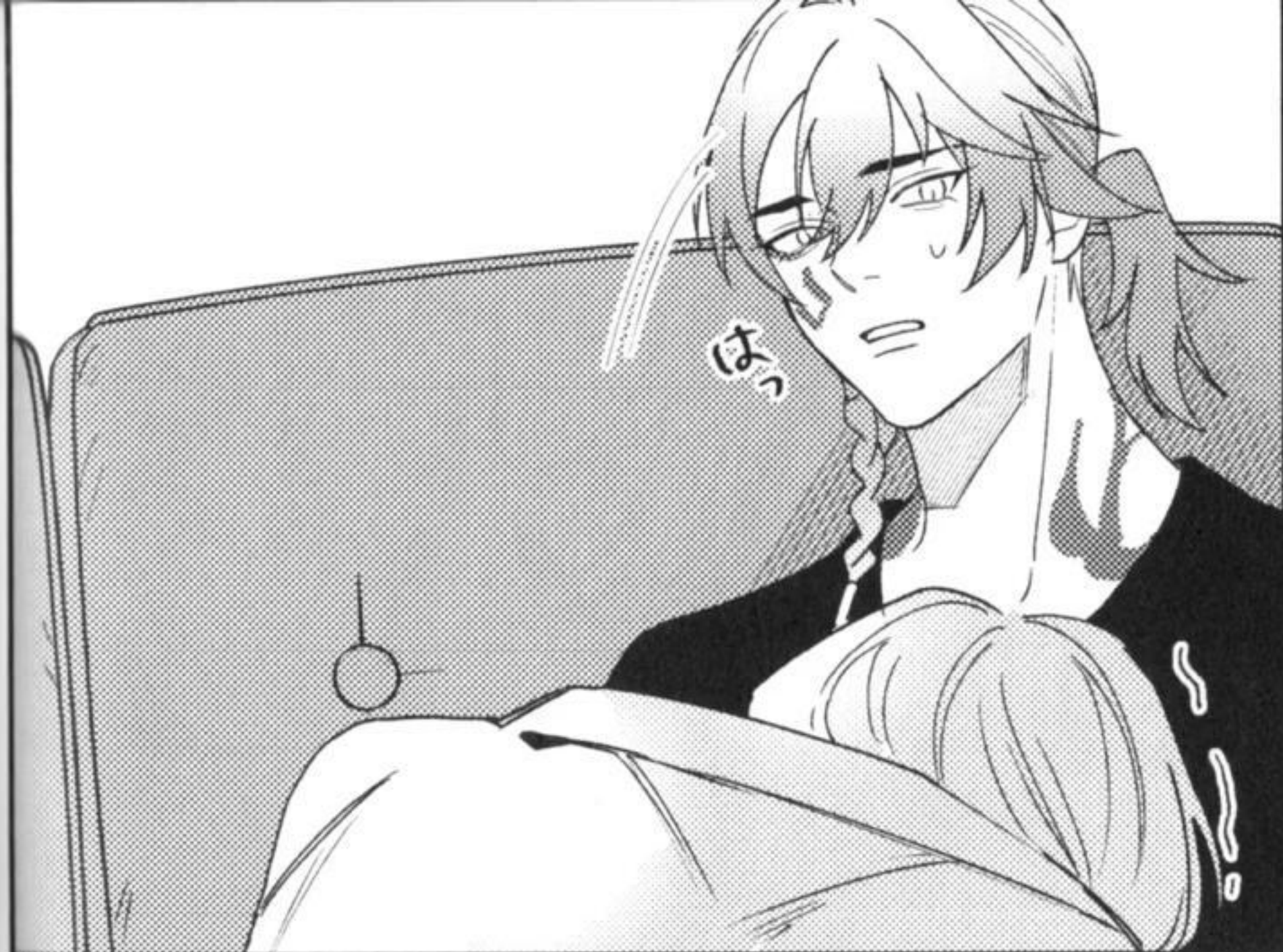
やめろ!!

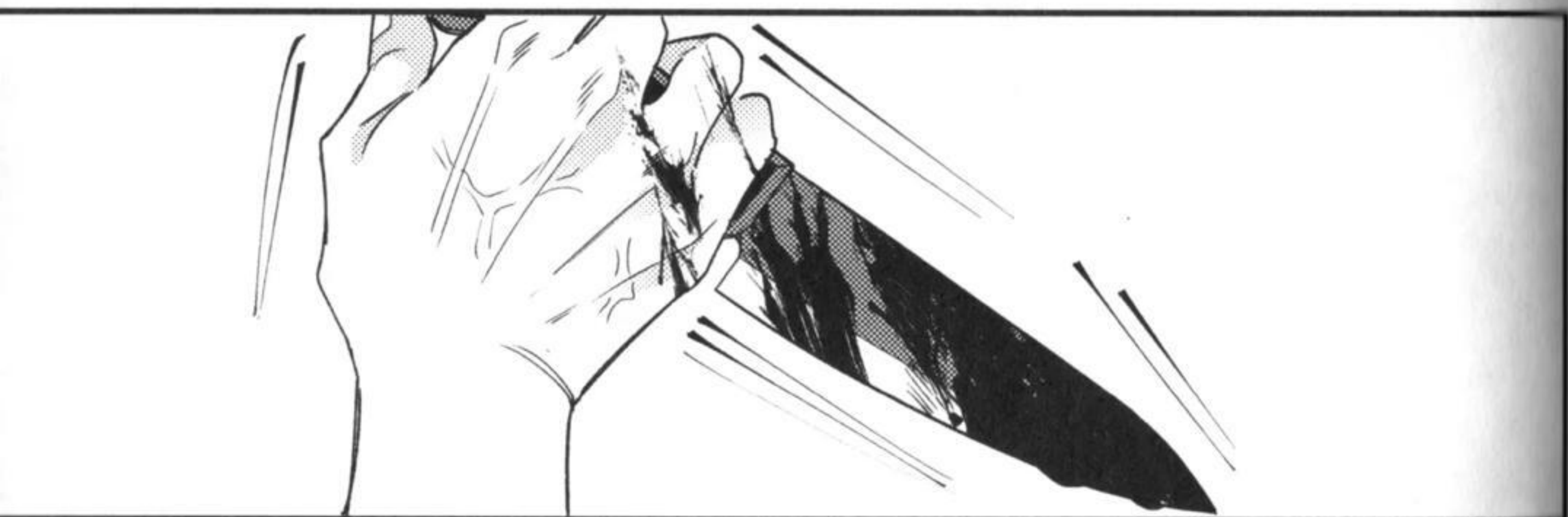
僕と幸せに
なろう?
モーディ、

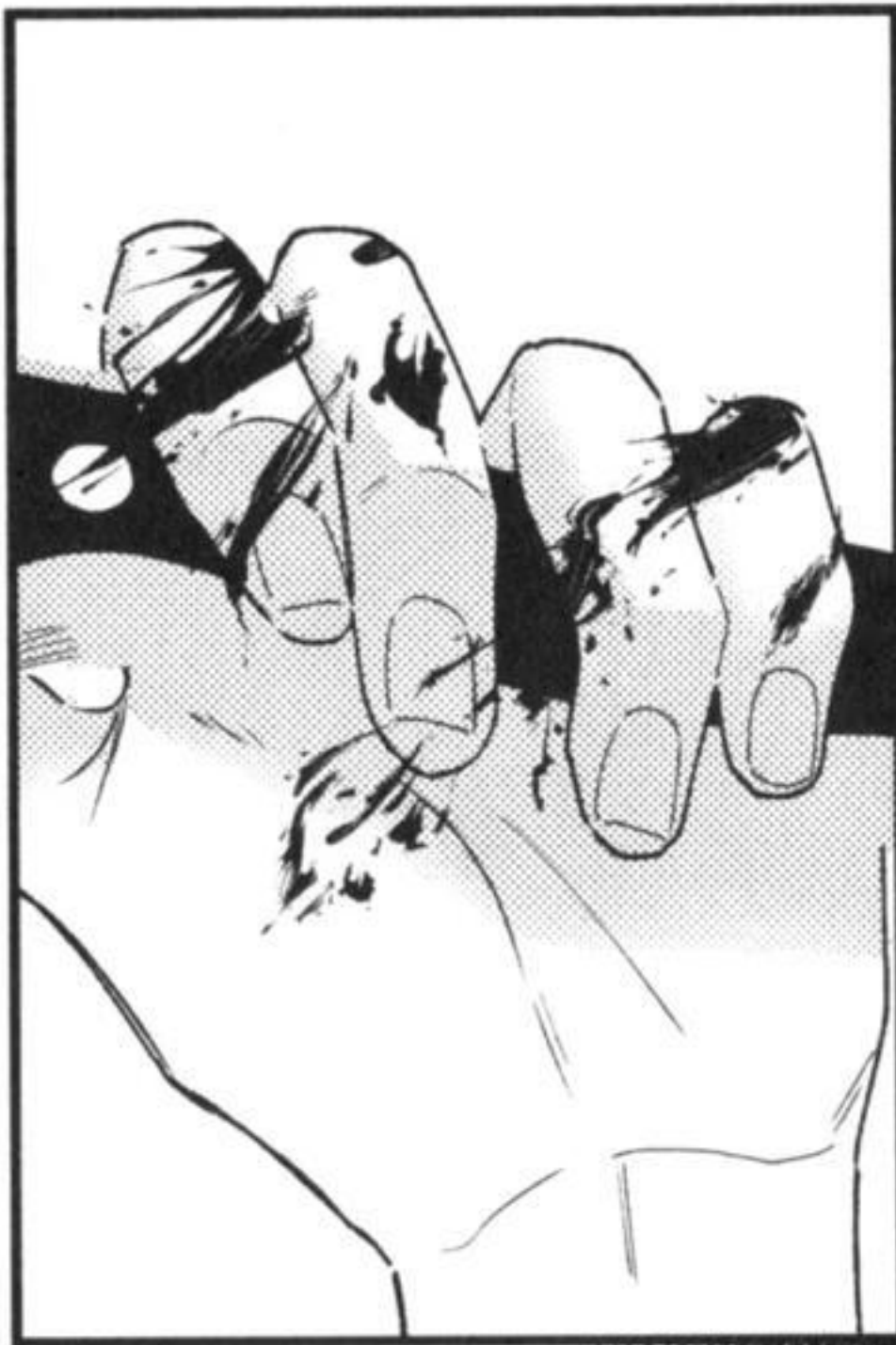






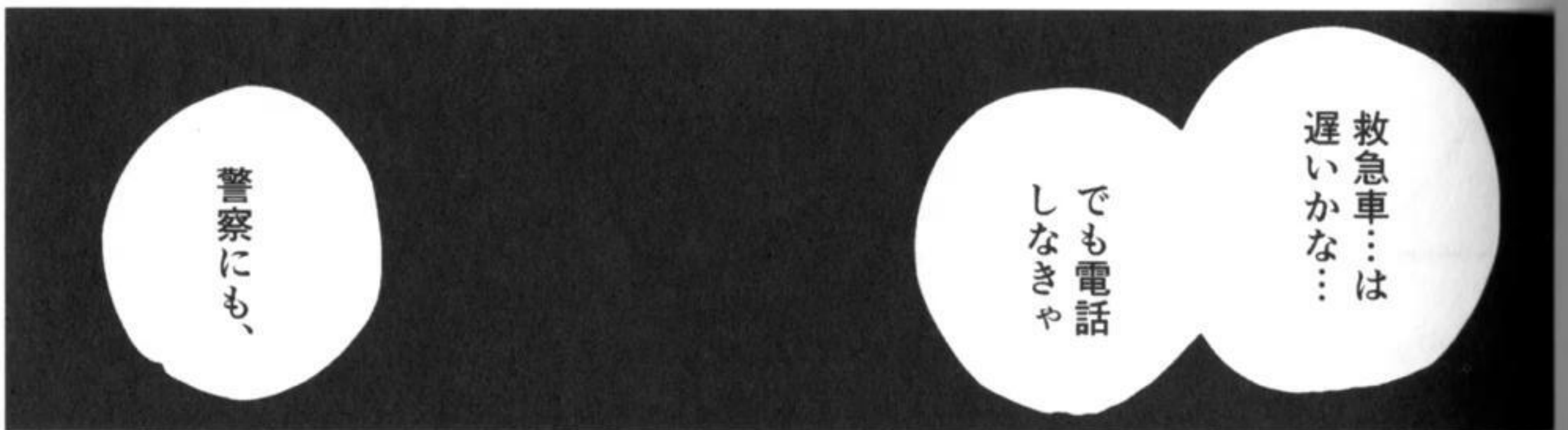


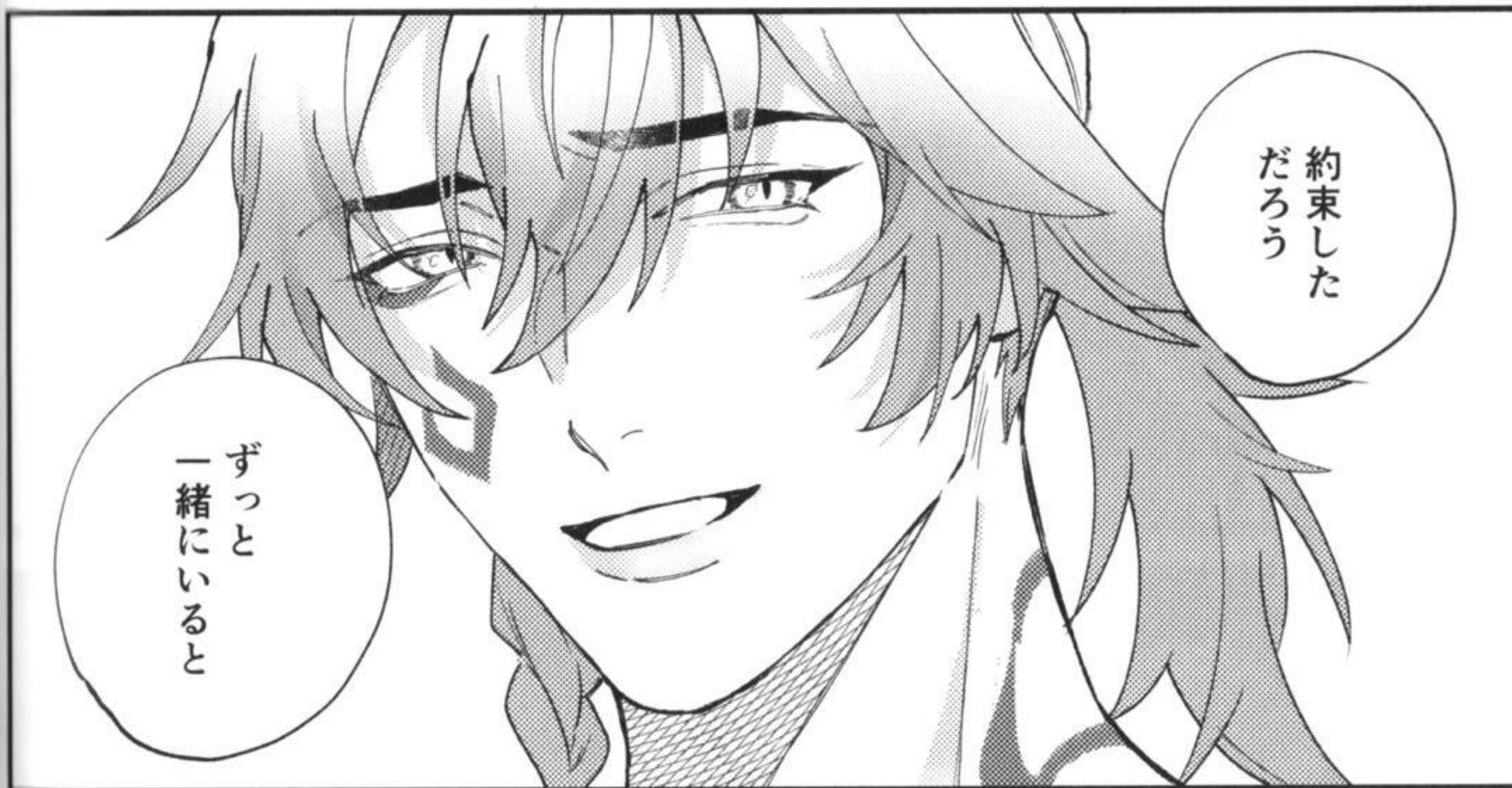












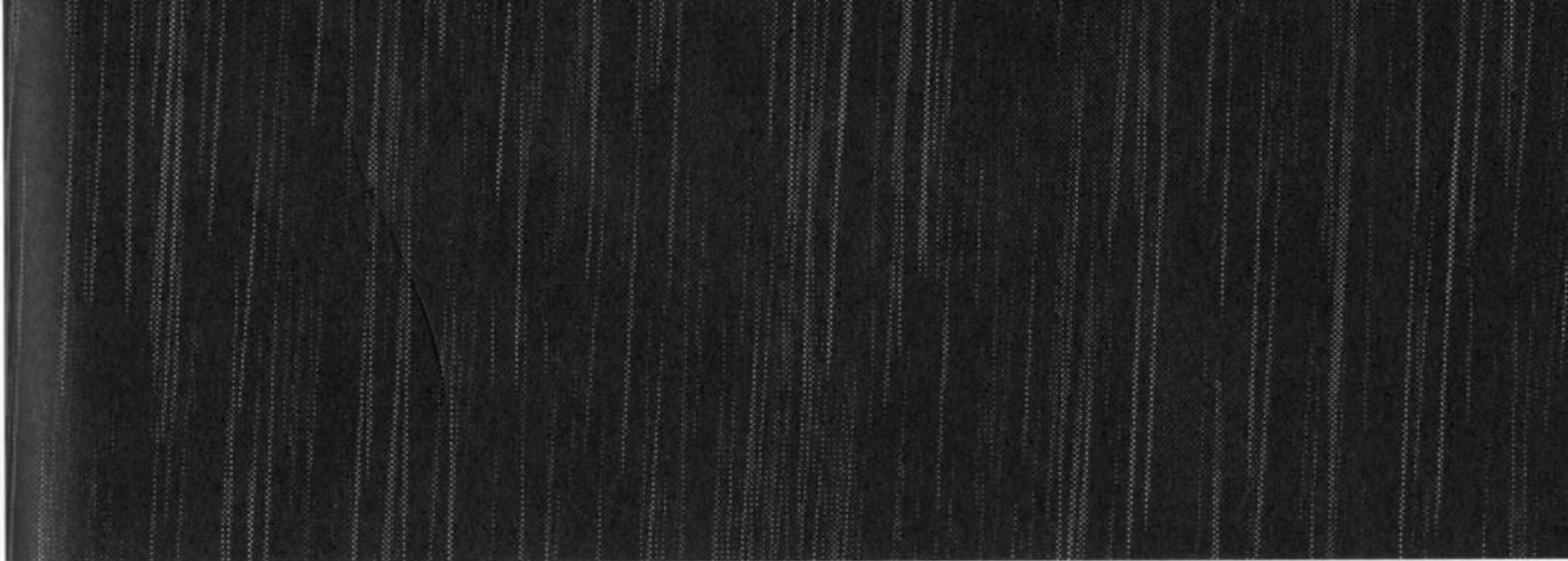


俺が車を手配する

必要なものは
全部俺がそろえる

お前はここで
待っている

——埋めるのは、
俺たち二人でだ



帰ろう

…ああ

……
これから
どうしようか

ここには
もう住めない
かな…

どこか遠くへ
行かないと

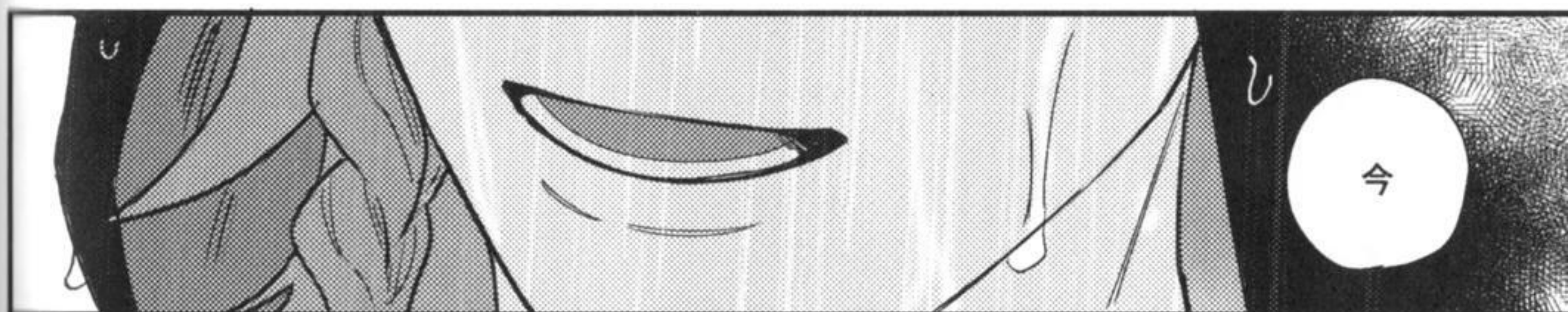


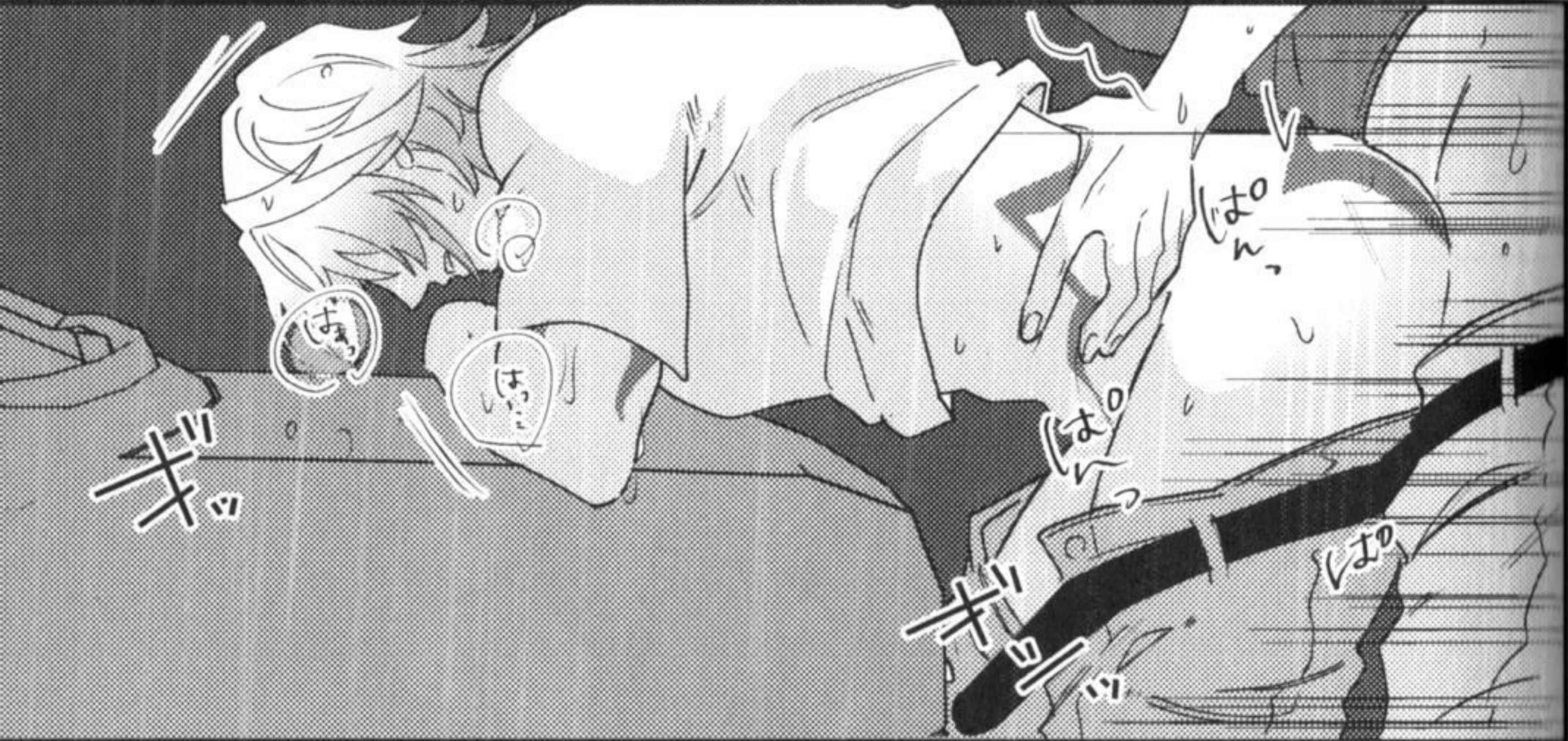
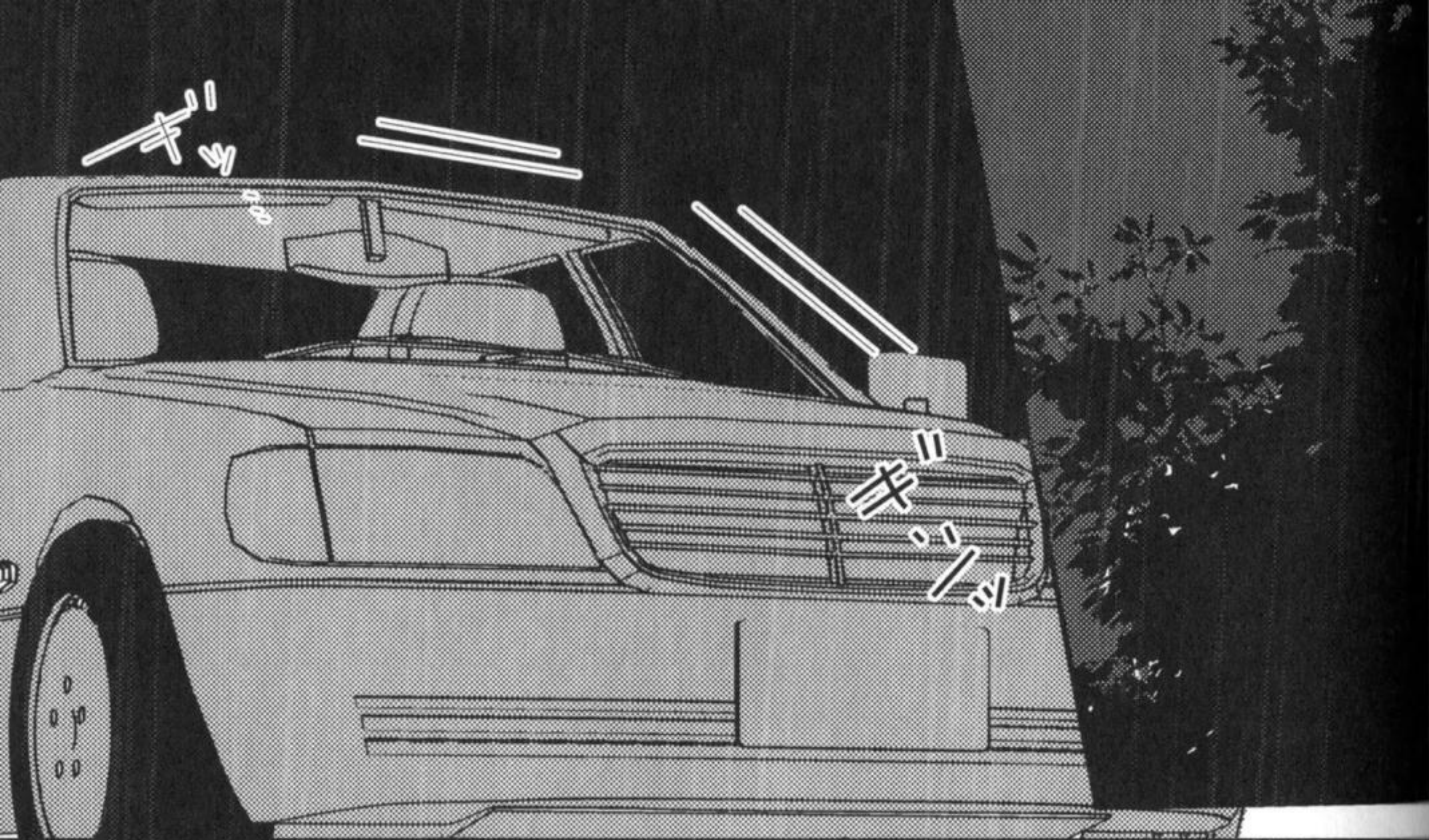
帰りは
僕が運転
するよ

スコップ
とかも…
僕が処分
してくる

ファイノン

抱いてくれないか





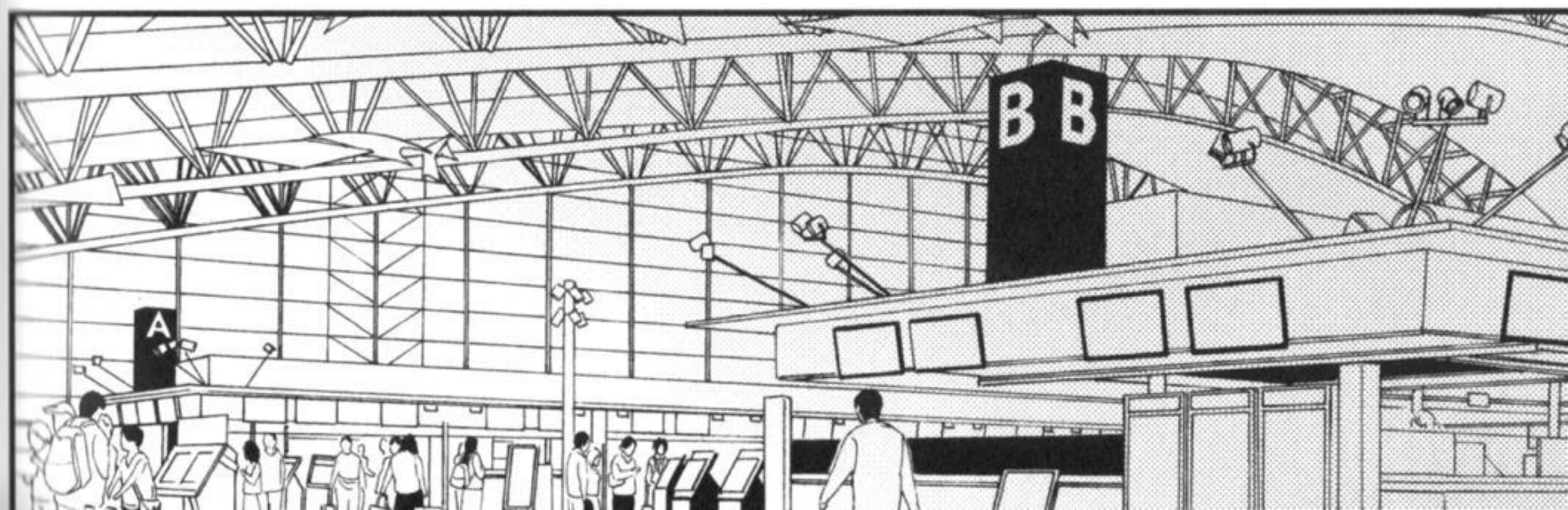


はやく……っ



ファイノン……!!

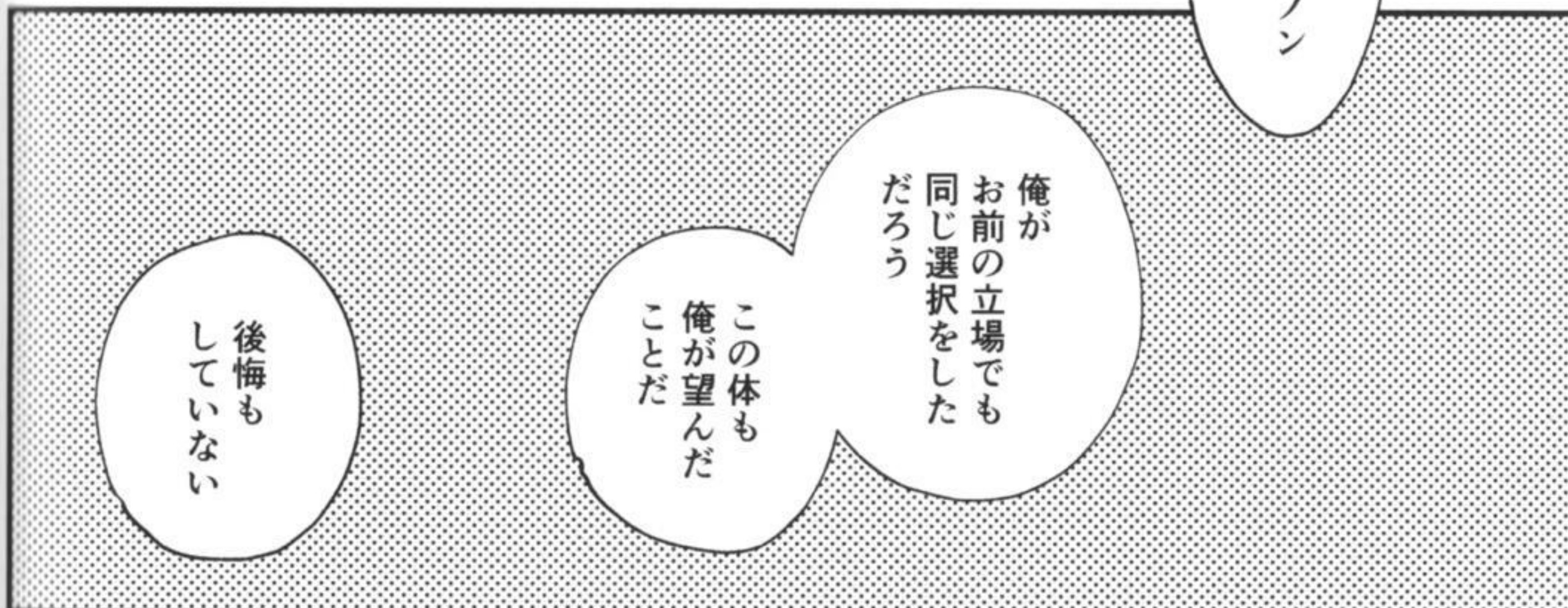














これだけは
忘れるな



俺たち
二人の罪だ



…お前だけの
罪ではない



ずっと
二人で生きて
いこうね

ありがとう

……うん

モーデイスは
ああ言って
くれたけど

きっと
僕と同じことは
しないだろう

君は
優しくて、綺麗で

…僕とは違う



僕は何度だって
同じ選択を
するだろう

何度でも

もし次に
僕の運命の番が
現れたとしたら

その時は
一人で殺す

もう二度と
モーデイスの
手は汚させない

ファイノン
早くしろ

ごめん
すぐ行くよ



「硝子の果実」

2025/08/31 発行
Honkai: Star Rail Unofficial Fanbook #04
Phainon × Mydei

またたび/まなつ
PixivID=i1150580
Twitter=@mana2_agxx
mail=mana2.08xx@gmail.com
印刷：アクシス出版株式会社様
表紙デザイン：おうり様(@stmhour)

matatabi presents

硝子果実